本文

官報　第八千五十號　明治四十三年四月二十六日　火曜日　印刷局

○省令

司法省令第五號

立木登記規則左ノ通相定ム

明治四十三年四月二十六日　司法大臣　子爵岡部長職

立木登記規則

第一條　明治四十二年法律第二十二號ニ依ル立木ノ登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除クノ外不動產登記法施行細則ノ規定ニ依ル

第二條　立木登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第三條　立木共同人名簿ハ附錄第二號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第四條　立木登記見出帳ハ附錄第三號雛形ニ依リテ之ヲ調製スヘシ

第五條　立木登記見出帳ニハ豫メ一ノ部ヨリ九ノ部マテヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ立木ノ存スル土地ノ番號ノ頭字ニ依リ相當ノ部ニ其ノ土地ノ番號、登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ册數、丁數及登記番號ヲ記入シ若樹木ノ生立スル部分ヲ表示スヘキ名稱又ハ番號アルトキハ其ノ名稱又ハ番號ヲモ記入スヘシ但シ立木ノ存スル土地カ二個以上ノ番號ヲ有スルトキハ其ノ少ナキ番號ノ部ニノミ記入スヘシ

既登記ノ地上權者ノ申請ニ因リ立木ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ前項ノ外其ノ地上權ノ順位番號ヲモ記入スヘシ

第六條　第四條ニ定メタル雛形ノ見出帳ヲ使用スルヲ不便トスル地方ニ在リテハ地方裁判所長ハ特別ノ見出帳ヲ調製セシムルコトヲ得

前項ノ見出帳ノ雛形、之ヲ用ウヘキ登記所及其ノ記入手續ニ付テハ豫メ司法大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第七條　不動產登記法施行細則第三十條及第三十一條ノ規定ハ立木登記簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付又ハ立木登記簿若ハ附屬書類ノ閱覽ノ請求ニ之ヲ準用ス但シ樹木ノ生立スル部分ヲ表示スヘキ名稱又ハ番號アルトキハ申請書ニ其ノ名稱又ハ番號ヲモ記載スヘシ

第八條　樹木ノ數量ハ材積及本數ヲ記載スヘシ但シ三十年生以下ノ樹木ニ在リテハ本數ヲ以テ足ル

材積ノ單位、呼稱及測定方法ハ各地方ノ慣習ニ從フ

第九條　一集團ニ二種以上ノ樹木生立スル場合ニ於テハ各種毎ニ材積及本數ヲ記載スヘシ

第十條　樹齡ハ一集團ニ年齡ノ異ナル樹木ノ生立スル場合ニ於テハ何年生以上何年生以下ト記載スルヲ以テ足ル

第十一條　樹種、數量及樹齡ヲ申請書ニ記載スル場合ニ於テハ之ヲ調査シ年度ヲ記載スヘシ

第十二條　既登記ノ地上權者カ立木ニ付所有權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ地上權ノ順位番號ヲ記載スヘシ

第十三條　登記ノ申請書ニ添附スヘキ圖面ハ附錄第四號雛形ニ準シテ調製シ之ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

一　立木所在ノ郡市區町村字及土地ノ番號

二　地目及段別

三　樹木カ一筆ノ土地ノ一部分ニ生立スル場合ニ於テハ其ノ部分ノ位置及段別、其ノ部分ヲ表示スヘキ名稱又ハ番號アルトキハ其ノ名稱又ハ番號

四　立木ノ存スル土地又ハ土地ノ部分ノ境界ニ道路、河川、湖海、沼池其ノ他境界ノ目標タルヘキモノアルトキハ其ノ名稱及位置

五　鄰接地ノ番號竝地目及其ノ所有者ノ氏名

六　立木カ一筆ノ土地ノ一部分ニ存スル場合ニ於テハ其ノ部分ニ鄰接スル他ノ部分ノ表示

七　鄰接スル土地又ハ土地ノ部分ニ生立スル樹木ノ所有者カ土地ノ所有者ト異ナルトキハ其ノ樹木ノ所有者ノ氏名

第十四條　市區町村ニ地方長官ノ認可ヲ得テ作製シタル立木ニ關スル實測圖面及公簿ノ備アルトキハ登記ノ申請書ニ其ノ圖面及公簿ノ謄本ヲ添附スヘシ但シ此ノ圖面ハ前條ニ掲ケタル事項ヲ具備スルコトヲ要ス

第十五條　抵當權設定ノ登記ノ申請書ニ記載スヘキ施藥方法カ詳密ニ渉ルトキハ申請書ノ記載ニ代ヘ其ノ方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第十六條　前條ノ添附書面ニハ申請人之ニ署名捺印シ且其ノ書面カ數葉ニ渉ルトキハ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但シ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ其ノ一人ノ署名捺印又ハ契印ヲ以テ足ル

許 8050号 本文

第十七條　第十五條ノ添附書面ハ受附番號ノ順序ニ依リテ之ヲ綴綴シ且之ニ丁數ヲ附スヘシ

第十八條　第十五條ノ場合ニ於テ登記官吏カ乙區事項欄ニ抵當權設定ノ登記ヲ爲ストキハ施業方法ヲ記載シタル添附書面ノ提出アリタル旨ヲ記載シ登記ノ末尾ニ其ノ書面ノ綴込帳ノ册數及丁數ヲ記載シ且添附書面ニ申請書受附ノ年月日、受附番號、登記番號及順位番號ヲ記載スヘシ

前項ノ記載ヲ爲シタルトキハ添附書面ニ掲ケタル施業方法ハ乙區事項欄ニ記載セラレタルモノト看做ス

第十九條　添附書面ニ掲ケタル施業方法ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ變更ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第二十條　第十六條乃至第十八條ノ規定ハ前條ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二十一條　登記官吏カ添附書面ニ掲ケタル施業方法ノ變更ノ登記ヲ爲シタルトキハ添附書面中變更シタル事項ヲ朱抹シ其ノ餘白ニ變更ヲ記載シタル書面ノ册數及丁數ヲ記入スヘシ

第二十二條　前三條ノ規定ハ添附書面ニ掲ケタル事項ノ更正ノ登記ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ明治四十二年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附錄第一號

立木登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ　枚

地方裁判所長

立木登記簿　甲　區　（所有權）

順位番號	登記ノ年月日	表示	事項	備考
		表示欄	事項欄	

立木登記簿　乙　區　（立木表示）

順位番號	登記ノ年月日	表示	事項	備考
		表示欄	事項欄	

附錄第二號

立木共同人名簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ　枚

地方裁判所長

立木共同人名簿　丁

順位番號	登記ノ年月日	住所	持分	備考
		申請人ノ氏名	持分	

附錄第三號

立木登記見出帳

區裁判所

附錄第四號（用紙美濃）

樹木カ一筆ノ土地ノ全部ニ生立スル場合

樹木カ一筆ノ土地ノ一部分ニ生立スル場合（實測ナラハ縮尺何分ノ一）

司法省令第六號

明治三十二年司法省令第十四號中「鑛業財團登記簿」ノ下ニ「立木登記簿」ヲ加フ

本令ハ明治四十二年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年四月二十六日　司法大臣　子爵岡部長職

○府令

關東都督府令第九號

製鹽監視規則左ノ通定ム

明治四十三年四月一日　關東都督　子爵大島義昌

製鹽監視規則

第一條　製鹽業者鹽田所轄ノ民政署、民政支署又ハ其ノ出張所管內ニ現住セサルトキハ鹽ノ製造、移出ニ關スル事務ヲ處理セシムル爲管理人ヲ定メ製鹽業者及管理人連署シ所轄署ニ申告スヘシ

第二條　製鹽業者災害其ノ他ノ事由ニ依リ移出前ニ鹽ヲ亡失シタルトキハ直ニ其ノ事由ヲ具シ所轄署ニ申告スヘシ

第三條　製鹽業者ハ帳簿ヲ調製シ左ノ事項ヲ記載スヘシ

官報　8050号　明治四十三年四月二十六日　木曜日

一　製造シタル鹽ノ數量及年月日
二　移出シタル鹽ノ數量年月日及納稅金額
三　讓渡シタル鹽ノ數量價格渡讓年月日及讓受人
四　讓受ケタル鹽ノ數量價格讓受年月日及讓渡人
五　災害其ノ他ノ事由ニ依リ亡失シタル鹽ノ數量

前項ノ規定ハ士八ノ製鹽業者ニ之ヲ適用セス

第四條　鹽ヲ內地ニ輸出セムトスル者ハ積込着手五日前ニ輸出スヘキ鹽ノ斤數其ノ所在地鹽堆積ニ製鹽經過日數、船積豫定期間、使用艀船數及運搬船名ヲ所轄署ニ申告スヘシ

第五條　監視員ハ必要アリト認ムルトキハ二箇所以上ノ鹽堆ヨリ同時ニ鹽ノ移出ヲ爲スコトヲ禁スルコトヲ得

第六條　內地輸出ノ爲鹽ヲ計量スルニハ左ノ各號ニ遵據スヘシ

一　枡器ハ內地度量衡法ニ依リ製作シタル壹合枡ヲ使用スヘシ
二　秤器ハ內地度量衡法ニ依リ製作シタル壹付秤器ヲ使用スヘシ

第七條　內地輸出鹽船積ノ爲艀船ニ鹽ヲ積込ミタルトキハ監視官吏ハ之ニ封印ヲ施シ本船ヘ積替ヲ爲ストキ之ヲ除去スヘシ

鹽船積終了シタルトキ又ハ一時船積ヲ中止スルトキハ監視官吏ハ船艙ニ封印ヲ施スヘシ

第八條　內地輸出鹽船積ノ證明ヲ受ケムトスルモノハ輸出者ノ氏名住所鹽ノ數量（石數及斤數）產地（同送船名、豫航地名、寄港地名、仕向地名及發航年月日ヲ記載シタル書面ニ該船積鹽ニ對スル鹽票及船荷證券ヲ添ヘテ所轄署ニ申請スヘシ

第九條　內地輸出鹽ヲ積載シタル船舶則荷積載ノ爲艀船ヲ要スルトキハ所轄署ニ申告スヘシ

前項ノ申告アリタルトキハ監視官吏ハ船艙ノ艀船ヲ爲シ則荷積込後更ニ封印ヲ施スヘシ

第十條　監視官吏職務ノ爲船舶ニ乘込ミタルトキハ船長ハ相當ノ便宜ヲ與フヘシ

第十一條　當該官吏ハ鹽田、船車其ノ他鹽ノ所在ト認ムル場所ニ臨檢シ又ハ運搬中ニ在ル鹽ノ出所及行先ヲ訊問スルコトヲ得

第十二條　監視官吏鹽稅ニ關スル犯則アリト認メタルトキハ犯則事實ヲ證明スヘキ物件ヲ搜索シ又ハ差押ヲ爲スコトヲ得

第十三條　監視官吏犯則事實ヲ證明スヘキ物件ヲ差押タルトキハ差押目錄ヲ作ルヘシ

物件ノ所有者ハ差押目錄ノ謄本ヲ請求スルコトヲ得

第十四條　監視官吏犯則事實ヲ調查スル爲必要ト認ムルトキハ嫌疑者及參考人等ヲ訊問スルコトヲ得

第十五條　製鹽業者第三條ノ帳簿ヲ調製セス又ハ其ノ記載ヲ怠リ若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキハ科料ニ處ス

第十六條　監視官吏ノ訊問ニ對シ虛僞ノ陳述ヲ爲シタル者ハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス第四條ニ規定セル事項ニ關シ虛僞ノ申告ヲ爲シタル者亦同シ

第十七條　製鹽業者、鹽田使用ノ許可ヲ取消サレ又ハ其ノ業務ヲ廢止スルモ鹽田又ハ貯藏場ニ鹽ノ現在スル間ハ仍ホ本令ヲ適用ス

附　則

本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○訓令

陸軍省訓令第十號

陸軍一般

明治四十三年度當省所管歲入歲出科目表中左記ノ通增設ス

明治四十三年四月二十六日　陸軍大臣　子爵寺內正毅

歲入臨時部　△印增設

款	項	目	節
△雜收入			
	△陸軍臨時費所屬收入		
		△雜收入	
		△官有物拂下代	

歲出經常部

軍事費			
	△俸給		
		休職停職俸給	奏任二
		△技師	
		△教授	
	△國		
		△技手	
		△陸地測量手	
	△修繕費		奏任二 世田谷野砲兵聯隊 兵舍修繕

歲出臨時部

款	項	目	節
△馬匹費			
△兵器費			
△被服費			
△糧秣費			
△需品費			
△築造費			
△郵便電信費			
△運搬費			
△病傷費			
△雜費			

陸軍營繕費補充資金

歲入

款	項	目	節
陸軍營繕費補充資金收入			
	陸軍營繕費補充資金收入		奏任二
	△雜償及違約金		

文部省訓令第七號

大臣官房會計課
直轄諸學校　帝國圖書館

明治四十三年度當省所管學校及圖書館歲入歲出科目表ニ左ノ通リ追加ス

明治四十三年四月二十六日　文部大臣　小松原英太郎

一歲出經常部學校及圖書館ノ款俸給ノ項中末位ニ賞與ノ目ヲ加フ

一資金部歲入維持資金收入ノ款中末位ニ償還金ノ項公債證書ノ目ヲ加フ

一歲出經常部學校及圖書館ノ款雜給及雜費ノ項雜費ノ目中末位ニ諸手數料ノ節ヲ加フ

○告示

宮內省告示第四號

宮內傳染病豫防令ノ規定ニ依リ神戶市ノ「ペスト」有病地ノ指定ヲ解除ス

明治四十三年四月二十六日　宮內大臣　子爵渡邊千秋

第8050号

第8050号 本文

農商務省告示第二百十八號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十三年四月二十六日 農商務大臣 小松原英太郎

字	地番	面積 町段畝歩
神奈川縣愛甲郡中津村大字中津		
神明前	五、六四八	四一五
坂本	五、五四三	一二六
同煤ヶ谷村		
八幡	一、五五四ノ一	三二二七
同玉川村大字七澤		
大平	三、〇四五ノ一	一、三六二一
同高峰村大字角田		
海底上	四、二二四	二二九
同中郡秦野町大字上大槻		
宮ノ前	八七一	三一五
同	八七二ノ一	二〇〇
同	八七三ノ一	五一四
同	九〇二ノ一	六〇〇
同	九〇二ノ二	二〇〇〇
同成瀨村大字高森		
欅	一、六五一	一一
同足柄下郡足柄村大字北久保		
室窪	一四三ノ一	八〇九
同大字府川		
細窪	三六〇ノ一	一〇
同	三六〇ノ二	二二
同大字谷津		
愛岩下	四五四ノ一	三〇二
同	四五四ノ二	一〇八
同大窪村大字入生田		
宮澤	二八八ノ一	三二五
同	二九〇ノ一	二二二
同吉濱村大字鍛冶屋		
森下	六二〇	六
同	六二二ノ一	一一五
宮ノ森	七二三ノ一	一六一九
同	七二四ノ一	三一〇
同石橋村		
東海	一七ノ一	九一九
同足柄村大字久野		
神山前	二三四ノ一	三七一四
同	二三六ノ一	二三四
同宮城野村		
向ヒ	七二〇ノ一	四一八
同	七〇三	一三
同足柄村大字久野		
子ノ神	三、二一八ノ一	三〇二五
同大字多古		
白山	六六六ノ一	一一三
同大窪村大字風祭		
宮脇	四三〇ノ一	一一八
同小田原町大字十字		
二丁目	三四一	一一〇六
同	三四二	一一〇七
同	三四四	一〇六
同土肥村大字城堀		
山神	三三二	一一二
同	三三三	二〇四
同國府津町		
神明脇	一一四	二〇六
同都筑郡田奈村大字恩田		
下耕地	七、八七二	一一二六
同二俣川村大字二俣川		
大藪	四、三八〇ノ一	四一九
同都岡村大字上白根		
稲荷	二二〇	一二一一
同	二二一ノロ	二〇〇〇
同橘樹郡日吉村大字矢上		
三軒家	一、三三五ノ一	一四二五
同大字小倉		
居村	二七八	五二三
同向丘村大字長尾		
東高根	一、〇二一	八〇〇
西高根	一、二一三	一〇〇六
同旭村大字師岡		
表谷	一、一三七ノ二	六一一
同中郡城島村大字下島		
賀美家	六二四ノ一	二一〇
同	六二五ノ一	九
東方	五八九	一三
同國府村大字國府新宿		
東長谷川	五三二ノ一	一一九
同神田村大字田村		
改戸	六四〇	二〇三
同吾妻村大字山西		
宮山	二、一一〇	五二三
同	二、一一一ノ一	三六〇一
同	二、二一五	七二五
同	二、二一六	一四一一
同	二、二一七ノ一	二九一四
同伊勢原町大字田中		
ガケ	一、一二八ノ一	一一一
同	一、一六九ノ一	三二八
同	一、一七ノ一	二一六
同高座郡藤澤町大字稲荷		
持瀬	九九七ノ一	二〇八
同茅ヶ崎町大字萩園		
根下	一、七一七ノ一	七二一
同	一、七一七ノ二	四〇三
同三浦郡葉山村大字上山口		
栗坪	四三七	一〇二五
同長井村		
屋形	二、八九九	二四
同津久井郡三澤村大字三井		
古井部	六七二	六〇六
同中野村		
上森戸	二〇五ノ一	六一八
同鳥屋村		
宮ノ前	一、一四一ノ一	四一四
同足柄下郡前羽村大字前川		
宮ノ後	一、四三三ノ一	一〇〇〇
同	一、四三三ノ二	八〇九
同田島村		
境	一、四九〇	四
同	一、四九一ノ一	五二三
同下中村大字小船		
森	六	一一〇
東ノ腰	六六八	一〇〇
同湯本村大字湯本		
仲町	四三〇ノ一	一八一〇
同岩村		
宮ノ上	四三六ノ一	四一六
同大窪村大字入生田		
石取	六二七	四〇〇
同	六二九	六〇〇
同早川村		
南畑ケ	一、一八三ノイ	二〇〇〇
同	一、一八三ノロ	八一三
同上府中村大字千代		
東町	二七九ノ一	九一一
同	二七九ノ二	二一一
同大字高田		
宮町	一九九ノ一	一〇一七
同足柄上郡福澤村大字千津島		
藤ノ木	一、三七七ノ一	二三三
同中井村大字松本		
諏訪脇	二五二ノ一	二三
同	二五二ノ二	二〇一
同寄村		
六十四番	四、四一一ノ一	一五
同	四、四一一ノ二	八二四
同岡木村大字沼田		
宮ノ前	二六〇ノ一	二二九
同川村大字川村山北		
吾妻山	三、五八九ノ一	一〇四
同愛甲郡中津村大字中津		
下萱原	一、一七二	二一〇
同足柄上郡上秦野村大字菖蒲		
子ノ神	一、五一一	八〇〇
同福澤村大字怒田		
山神戸	二、五二九ノ一	二一
同	二、五二九ノ二	三〇八
天神戸	二、三四七ノ一	三〇五
同	二、三四七ノ二	一二〇
同川村大字川村岸		
中原	一、四〇〇ノ一	二二六
同中井村大字松本		
天神免	一、〇〇一ノ一	一一三
同	一、〇〇一ノ二	二〇
同岡本村大字塚原		
松原	三、九七一ノ一	二九〇九
同川村大字川村岸		
淺間山	三、五八六	二七
同	三、五八七ノ一	九一八
同福澤村大字竹松		
水無	七九八ノ一	二一
同	七九八ノ二	二三
同寄村		
十四番	七八五ノ一	四二三
同共和村大字皆瀨川		
タケ山	一、五三一ノ一	一二九
同秦野村大字菖蒲		
日枝社下	一、七六五	三〇四
同寄村		
四十九番	三、三二六	四一〇
同中井村大字境別所		
山王際	一一二	一一四
宮ノ前	五八九	二一一
同	六一八ノ一	一一三
同曾我村大字上大井		
宮上	三二九	七二三
同	三三〇ノ三	二〇一〇
同南足柄村大字福泉		
貝澤	三四一ノ一	四二〇
同中郡國府村大字國府本郷		
西馬場	一、一二〇	一二〇〇
同	一、一二二イノ一	一三二三
同	一、一二二ロノ一	二一八
同高座郡小出村大字堤		
八王子原	五〇五ノ一	一〇七
同	五〇五ノ二	三一九
同有馬村大字中野		
櫻野	一ノ一	六一〇
同愛甲郡下川入村		
十六ノ城	一、三六六	三三〇三
同	一、三六七	四二二
同	一、三六八	二二六
同	一、三七〇	二一二五
同	一、三七一	三六二二
同中津村大字中津		
若宮	五、八五〇	四二一
同	五、八五二	六二〇
同足柄上郡福澤村大字怒田		
原	一、三六五	一〇
同三浦郡初聲村大字下宮田		
大坪	一、八四四ノ一	六二六
同高座郡海老名村大字柏ケ谷		
天谷原	五九九ノ一	四一九
同	五九九ノ二	二二五
同愛甲郡玉川村大字岡津古久		
宮ノ前	八七八ノ一	二二〇三
同南毛利村大字温水		
宮原	七三七	三四二一
同中郡南秦野村大字尾尻		
八幡山	四一五	三三〇〇
同	四一六	二六一〇
同	四一八ノ一	四〇六
同	四一九ノ一	一三一九
同	四二一	二三一二
同旭村大字公所		
宮ノ上	一四四ノ一	五〇〇八
同比々多村大字三宮		
宮ノ前	一、四六九	二三〇〇
同大字串橋		
宮ノ根	三一〇ノ一	七〇一
同大字善波		
大松山	七一五ノ一	三一〇九
同東秦野村大字西田原		
羽根境	四〇三ノ一	二五二七
同大字落合		
大窪	六六一ノ一	五〇八
同	六六二ノ一	三〇二
同	六六三ノ一	二二一七
同大字名古木		
東ノ前	四六〇ノ一	一六二九
同北秦野村大字菩提		
花島	一、七四一	二〇三
同大字横野		
宮ノ子	六〇七ノ一	一一一〇
同	六〇九ノ一	二一一七
同	六一〇ノ一	八二三
同成瀨村大字高森		
谷入	一、〇九一	五二三
同	一、〇九五	二〇〇
宮越	一、三二九	二六
同	一、三三〇	二〇六
同	一、三三一	二二五
同國府村大字國府本郷		
祇園塚	九三六	一〇一九
同高座郡茅ヶ崎村大字茅ヶ崎		
前ノ田	一、六二七	一〇二〇
同橘樹郡保土ヶ谷町大字下星川		
大明神前	一、二〇一ノ一	二〇七
同	一、二〇一ノ二	三〇一五
同鎌倉郡川口村大字江ノ島		
西町	二〇一ノ九 一、〇二一ノ内	三三三

遞信省告示第五百五十七號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十三年四月二十六日 遞信大臣 男爵後藤新平

香港洋銀	一ダラー	圓 八八・四一七	一圓ニ付〇一「ダラー」十三「セント」一
墨銀	一ダラー	八七・五六三	一圓ニ付〇四一「ダラー」十四「セント」三

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ從前ノ通

遞信省告示第五百五十八號

來五月一日ヨリ左記電信取扱所ニ電報配達事務ヲ開始ス

明治四十三年四月二十六日 遞信大臣 男爵後藤新平

名稱	位置
蕃富電信取扱所	岡山縣赤磐郡太田村

遞信省告示第五百五十九號

明治四十二年七月遞信省告示第六百二十二號外國電報ノ取扱ニ關スル制限中「白露」ノ項ヲ左ノ通改正ス

明治四十三年四月二十六日 遞信大臣 男爵後藤新平

白露 同國「ピウーラ」州各局竝「イキトス」、「マシシー」、「オレラナ」及「レケナ」ノ無線電信局宛ノ電報ハ發信人ノ危險ニ於テノミ之ヲ受付ク

遞信省告示第五百六十號

來五月一日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

明治四十三年四月二十六日 遞信大臣 男爵後藤新平

現名稱	改稱	位置
新町郵便局	久保（クボ）郵便局	福岡縣京都郡久保村
大藪郵便局	大莞（オオイ）郵便局	福岡縣三潴郡大莞村
市ノ原郵便局	南小國（ミナミオグニ）郵便局	熊本縣阿蘇郡南小國村
小森郵便局	山西（ヤマニシ）郵便局	熊本縣阿蘇郡山西村
船津郵便局	河内（カワチ）郵便局	熊本縣飽託郡河内村
原ノ町郵便局	山川（ヤマカワ）郵便局	福岡縣山門郡山川村
中津屋郵便局	夜須（ヤス）郵便局	福岡縣朝倉郡夜須村
門司田ノ浦郵便局	門司田野浦（モジタノウラ）郵便局	門司市大字田野浦
二榮郵便局	西上浦（ニシカミウラ）郵便局	大分縣南海部郡西上浦村
戸畑郵便局	北山田（キタヤマダ）郵便局	大分縣玖珠郡北山田村
鶴川郵便局	國東（クニサキ）郵便局	大分縣東國東郡國東町
宮ノ浦郵便局	北崎（キタサキ）郵便局	福岡縣糸島郡北崎村
坂ノ下郵便局	高城（タカギ）郵便局	福島縣東白川郡高城村

遞信省告示第五百六十一號

明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ來五月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス但シ電報配達事務ヲ取扱ハス

明治四十三年四月二十六日 遞信大臣 男爵後藤新平

名稱	位置
津戸郵便局	島根縣穩地郡都万村

遞信省告示第五百六十二號

日英博覽會紀念ノ爲左ノ通特殊通信日附印ヲ使用ス

明治四十三年四月二十六日 遞信大臣 男爵後藤新平

一 使用局 東京市內一、二等郵便局（司法省內、遞信省構內、遞信省假廳舍內、赤坂及東京鐵道郵便局ヲ除ク）內藤新宿郵便局及澁谷郵便局

二 使用期日 來ル五月一日

三 使用方法 差出人ノ希望ニ依リ第一項ノ各郵便局窓口ニ差出シタル郵便繪葉書ノ引受ニ使用ス 但シ五月一日ヨリ同月十日迄郵便繪葉書ニ一錢五厘切手ヲ貼付シ紀念消印ヲ需ムル者ニ對シテハ特ニ其需ニ應ス

四 形式 東京市內ノ各郵便局ハ總テ東京ノ日附印ヲ使用ス

關東都督府告示第八十五號

明治四十三年四月十一日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス但シ電報配達事務ヲ取扱ハス

其ノ取扱時間ハ午前六時ヨリ午後七時迄トシ至急電報ト雖該時間外ハ之ヲ取扱ハス

明治四十三年四月一日 關東都督 子爵大島義昌

名稱	位置
草河口（ソウカコウ）電信取扱所	滿洲草河口鐵道停車場

正誤

昨四十二年十一月十六日農商務省告示第四百五十二號中三四〇頁二段四行一、一八二一一〇〇〇十行一三、三八一九〇〇四十五行一、一八二五二七〇〇〇〇四段三十四行二七〇、〇八二、九三〇〇〇八三十五行七五一、八八九〇八〇〇一三四一頁一段二十三行三〇五八一〇〇〇一〇一一本月十三日同第百九十五號中三一二頁一段末行蝠蝠山ハ蝠本二段三行同大字奥田原ハ同能義郡山佐村大字奥田原八行一、七九五、二八一、七五九、二〇〇ノ孰モ誤

農商務書記官

本月十八日官報統監府訓令第四號中民事月報記載例第五條、刑事月報記載例第七條、第八條、第十條其ノ八

他ハ其他第一審民事月報様式第二部ノ行非訴事件ハ非訟事件ノ誤又第二審刑事月報様式抗告事件ノ上告欄ニ斜線ヲ脫ス
統監府祕書官
同上第一審民事月報様式ノ前ニ左ノ様式ヲ脫ス

第一審民事月報　明治四十　年　月分　區裁判所

第一部	日本人間	韓國人間	日韓人間	外國人間	日本人ト外國人間	韓國人ト外國人間	計	備考
受理 舊受								
受理 新受								
受理 計								
既濟 判決								
既濟 缺席判決								
既濟 取下								
既濟 和解								
既濟 其他								
既濟 計								
未濟 審理中								
未濟 中斷中								
未濟 休止中								
未濟 計								
控訴								

第二部	受理 舊受	受理 新受	受理 計	既濟	未濟	備考
抗告						
和解事件						
督促手續						
證據保全						
假差押及假處分						
強制執行 強制競賣						
強制執行 其他						
不動産競賣						
不動産登記						
商業登記						
其他ノ登記						
禁治産、準禁治産、失踪ノ宣告						
非訟事件手續法ニ依ル非訟事件						
共助						
計						

同十三日農商務省告示第百九十五號中三一三頁二段五行同那賀上府村ハ同那賀郡上府村ノ誤同十八日官報統監府訓令第四號中第二審民事月報様式抗告事件ノ上告欄ニ斜線ヲ脫ス(以上誤植)

○敍任及辭令

○明治四十三年四月二十四日
敍正四位　從四位勳三等　田代律雄
○明治四十三年四月二十五日
任陸軍騎兵大尉　陸軍騎兵中尉正七位勳六等功五級　坂勳
任陸軍歩兵大尉　陸軍歩兵中尉正七位勳六等功四級　酒井幾造
任陸軍歩兵大尉　陸軍歩兵中尉從七位勳六等功五級　吉富庄祐
任陸軍歩兵大尉　陸軍歩兵中尉正七位勳六等功五級　奥山五六
任陸軍歩兵大尉　陸軍歩兵中尉正七位勳六等功五級　岩田義信
任陸軍歩兵大尉　陸軍歩兵中尉正七位勳六等功五級　佐々高裕
任陸軍歩兵大尉　陸軍歩兵中尉正七位勳六等　今岡淺吉
兼任臨時發電水力調査局事務官　遞信書記官兼遞信省參事官正六位勳六等　肥後八次
敍高等官四等
兼任臨時發電水力調査局技師　遞信技師正六位　近藤茂
敍高等官四等
兼任臨時發電水力調査局技師　遞信技師從六位　關口壽
敍高等官五等
陞敍高等官六等　臨時臺灣糖務局事務官兼臺灣總督府事務官從七位　金田政四郎
任臺灣總督府事務官兼臺灣總督府專賣局事務官　臺灣總督府專賣局書記　藤野幹
敍高等官七等
任臺灣總督府技師　臺灣總督府技手　藤本鐵治
敍高等官八等
任臺灣總督府技師　臺灣總督府技手　眞室幸教
敍高等官八等
任北海道廳技師　北海道廳技手　鶴岡留吉
敍高等官七等
任北海道廳技師　北海道廳技手　池邊稻生
敍高等官七等
任北海道廳技師　北海道廳技手　小清水義男
敍高等官七等
任德島縣事務官補　靜岡縣屬　太田正
敍高等官七等
任福島縣事務官補　福島縣屬　澤田竹次郎
敍高等官七等
正七位　佐々倉永三郎
正七位　曲淵景章
(各通)
依願醫術開業試驗委員被免
依願免本官　東京外國語學校教授　平井金三
臺灣總督府事務官兼臨時臺灣糖務局事務官　金田政四郎
任臨時臺灣糖務局事務官兼臺灣總督府事務官(以上四月二十五日內閣)
鐵道院保健課長ヲ命ス　鐵道院參事　遠藤剛太郎
九州鐵道管理局勤務ヲ命ス(以上四月二十三日鐵道院)　鐵道院參事　井上正進
特旨ヲ以テ位一級被進(四月二十四日宮內省)　判事從四位勳三等　田代律雄

〔八〕

六級俸下賜
(各通)
十一級俸下賜
四級俸下賜(以上四月二十五日內務省)
兼補陸軍大學校兵學教官
臨時測圖部副官被免
補歩兵第四十五聯隊附
(各通)
臨時測圖部分班長被免
補歩兵第三聯隊中隊長
補野砲兵第十三聯隊附
免本職臨時測圖部副官被仰付
免本職補歩兵第十二聯隊中隊長
免本職補近衞歩兵第二聯隊中隊長
補歩兵第七十一聯隊附
免本職補歩兵第四十九聯隊中隊長
免本職補歩兵第六十二聯隊中隊長
免本職補歩兵第四十四聯隊中隊長
免本職補松山聯隊區副官
免本職補歩兵第七十一聯隊中隊長
休職被仰付(以上四月二十五日陸軍省)
豫審掛ヲ解ク
豫審掛ヲ命ス
兼補千葉地方裁判所判事
豫審掛ヲ命ス(以上四月二十五日司法省)
東京帝國大學評議員ヲ命ス
數學第二講座分擔ヲ命ス
(各通)
四級俸下賜
(各通)
七級俸下賜(以上四月二十三日文部省)

德島縣事務官補　太田正
北海道廳技師　鶴岡留吉
北海道廳技師　池邊稻生
北海道廳技師　小清水義男
官幣大社平野神社宮司　福原公亮
參謀本部課長陸軍歩兵大佐　首藤多喜馬
陸軍歩兵大尉　和田正
陸軍歩兵大尉　和田正
陸軍歩兵大尉　小川健之丞
陸軍砲兵大尉　堀川兵作
陸軍歩兵大尉　小川健之丞
陸軍砲兵大尉　堀川兵作
歩兵第三聯隊中隊長陸軍歩兵大尉　中村規矩次
歩兵第十旅團副官陸軍歩兵大尉　酒井幾造
近衞歩兵第二聯隊附陸軍歩兵大尉　吉富庄祐
陸軍歩兵大尉　奥山五六
歩兵第四十九聯隊附陸軍歩兵大尉　岩田義信
歩兵第六十二聯隊附陸軍歩兵大尉　佐々高裕
歩兵第二十二旅團副官陸軍歩兵大尉　今岡淺吉
歩兵第七十一聯隊中隊長陸軍歩兵大尉　森戸鐵太郎
歩兵第七十一聯隊附陸軍歩兵大尉　高橋潔
歩兵第十一聯隊附陸軍歩兵少佐　御手洗庄一
木更津區裁判所判事　永井次郎
木更津區裁判所判事　吉田貞助
千葉區裁判所判事　松田辰三郎
千葉地方裁判所判事　松田辰三郎
東京帝國大學文科大學教授文學博士　上田萬年
京都帝國大學理工科大學助教授　和田健雄
宮崎縣師範學校長　兒玉鑑三
鹿兒島縣師範學校長　伊藤德定
島根縣師範學校長　本田嘉種
岐阜縣師範學校長　片岡英儀
愛媛縣女子師範學校長　鹽谷伴造
鹿兒島縣女子師範學校長　木下竹次

六級俸下賜(四月二十五日同)　岡山醫學專門學校教授　佐藤松介
東京帝國大學農科大學助教授　堀田正逸
學術實地指導ノ爲千葉縣演習林ヘ出張ヲ命ス(四月二十三日東京帝國大學)
十一級俸下賜　農商務技師　岡村要藏
鑛山局勤務ヲ命ス　農商務技師　岡村要藏
巖手縣水産試驗場技師　小笠原嘉壽
巖手縣水産試驗場長ヲ命ス(以上四月二十三日農商務省)
農商務省參事官　肥田平次郎
大久保商務局長清韓兩國ニ出張中代理ヲ命ス(四月二十五日同)
八級俸下賜　臨時發電水力調査局技師　森忠藏
十一級俸下賜　臨時發電水力調査局技師　倉橋忠志
臨時發電水力調査局技師　澁澤元治
(各通)　臨時發電水力調査局技師　村尾栞
臨時發電水力調査局作業課兼調査課勤務ヲ命ス
臨時發電水力調査局技師　森忠藏
(各通)　臨時發電水力調査局技師　倉橋忠志
臨時發電水力調査局作業課勤務ヲ命ス(以上四月二十二日遞信省)
民政署警務署各管內及哈爾賓ヘ出張ヲ命ス　關東都督府警視總長　佐藤友熊
上京ヲ命ス　關東都督府通信管理局長　加藤順次郎
旅順工科學堂教授　富田忠詮
旅順工科學堂學長白仁武不在中代理ヲ命ス(以上四月十八日關東都督府)
復職ヲ命ス(四月二十二日京都府)　休職京都府立醫學專門學校教諭　永井德壽
當分年俸七百八拾圓下賜(四月二十日長崎縣)　長崎縣立五島中學校教諭　松本義玄
七級俸下賜(四月二十三日新潟縣)　長岡市立商業學校長　倉西松次郎
十級俸下賜(四月二十一日同)　新潟縣立村上中學校教諭　小澤五郎
十級本俸下賜(四月一日同)　新潟縣立佐渡中學校教諭　高橋隆
九級俸下賜　新潟縣長岡女子師範學校教諭　込田喜次郎
十級本俸下賜　新潟縣長岡女子師範學校教諭　春日今朝藏
九級俸下賜(以上四月五日同)　新潟縣立長岡中學校教諭　中村正雄
九級俸下賜但當分年俸八百參拾圓下賜　群馬縣立前橋中學校教諭　長澤開右衞門
九級俸下賜但當分年俸八百七拾圓下賜(以上四月二十一日群馬縣)　群馬縣立前橋中學校教諭　中上克巳
九級俸下賜(四月十九日山形縣)　山形縣師範學校教諭　吉野久次
七級俸當分千五拾圓下賜(四月二十二日同)　山形縣立山形中學校教諭　安井留三
十一級俸下賜(四月十九日島根縣)　島根縣立水産學校長　龜井小市
年俸千圓下賜(四月二十一日和歌山縣)　和歌山縣工業技師　相川規一
十二級俸下賜但當分年俸五百五拾圓給與(四月十八日香川縣)　香川縣立高松高等女學校教諭　桐榮キヨ
九級俸下賜(四月十一日大分縣)　大分縣女子師範學校教諭　山田眞三
十級俸下賜(四月二十一日同)　大分縣立中津中學校教諭　三宅光華

〔九〕

第8050号 本文

○官廷錄事

○親任官任免

○勅任官任免

○奏任官任免

○判官檢事任免

○官吏敍位

○官吏敍勳

○官吏賞與

○官吏恩給

○官吏死去

○彙報

○官廳事項

○人事

○叙位叙勳

○賞與

○恩給

○官吏死去

○司法及警察

○減刑

○免許

○辯護士

○公證人

○方面委員

○出火

○保險業

○船舶

○海軍

○陸海軍

○水路告示

○航路標識

○無線電信

○電話

○郵便

○電信

○鐵道

○船舶

○會社

○銀行

○商業

○破産

○雜報

第8050号　本文

一燈質　「アガ」式明暗白光燈　明零秒三　暗二秒七
一燈高　三十一呎　礎上二十五呎
一光達距離　九浬
一明弧　全度
一樣式　白塗鐵造四角形櫓形
一等級　無等
一初點年月　明治四十三年四月二十日
一注意　本照光器ハ一度點火スルトキハ十箇月間保持シ得ヘキ構造ナルヲ以テ常ニ看守ヲ置カス故ニ萬一燈火消滅スルトキハ再點ニ多少ノ時間ヲ要ス

(乙)元山第二號浮標ノ撤去
一位置　新設挂燈立標ノ北西方距離約半鏈
一樣式　球形目標附紅黑橫線塗鐵造圓錐形
一撤去期日　明治四十三年四月二十日
一注意　右ハ元山挂燈立標新設ノ爲メ不必要トナリタルニ因ル
一偏差　明治四十三年六度二八分西
一關係海圖　第三一二號第三一四號
一關係誌類　朝鮮水路誌五〇四頁五〇二頁東洋燈臺表上卷一〇〇頁四一番ノ次(記入)、一〇四頁二番及水路告示第一九一九號
一出所　明治四十三年四月十五日附韓國關稅局告示第一〇五號

第六九八九項
北洲南岸　渡島地方
汐首岬燈臺霧笛吹鳴ノ停止
一記事　明治四十三年四月二十二日官報遞信省告示第五五一號ヲ注視スヘシ
一時關係海圖　第一〇號第四三號第七二號第三號第三〇七號
一時關係誌類　日本水路誌第五卷四九頁東洋燈臺表上卷六四頁二〇八番

第六九九〇項
黑龍沿岸州　浦鹽斯德近海
Cape Gamova 燈臺霧笛ノ吹鳴復舊
一記事　明治四十三年四月二十二日官報在外公館報告欄ヲ注視スヘシ
一關係海圖　第二六三號第二七七號第一六二號第三〇一號第四號
一關係誌類　黑龍沿岸州水路誌四三頁東洋燈臺表上卷一一六頁二番及水路告示第二二一七號

第六九九一項
本洲南岸　伊良湖水道西側
神島燈臺並副燈及コヅカミ礁導標ノ建設
一記事　明治四十三年四月二十日官報遞信省告示第五四〇號ヲ注視スヘシ
一關係海圖　第八七號第七〇號第一〇二號第二號
一關係誌類　日本水路誌第二卷上五六頁五五頁東洋燈臺表上卷八頁二二頁ノ次(記入)、七九頁二番ノ次(記入)及六九頁一三番

項外
正誤
海軍海圖第三四〇號(朝鮮南岸珍島東部至長直路)中、靑山島ノ南部ニアル寶積山ノ高四四〇、、六八一〇〇〇六ノ誤

右告示ス
明治四十三年四月二十六日　水路部長　中尾雄

注意
一當部刊行ノ圖誌類ハ左記ノ各地ニ於テ之ヲ販賣ス
日本郵船株式會社東京本店〇神戸、長崎、函館、門司ノ四支店及大阪尙扱所
一此告示ノ印刷物ハ若干部ヲ前記ノ圖誌販賣所ニ備置キ無代價ニテ各航海者臨時ノ要望ニ應スヘシ
一此告示ノ印刷物ハ左記ノ韓國沿海各理事廳及帝國領事館ニモ送付シアルヲ以テ各航海者ハ隨時該處ニ就テ閲覽スルヲ得ヘシ
鎭南浦　馬山　仁川　木浦　群山　釜山　元山　城津〇孟買　新嘉坡　馬尼剌　香港　盤谷
厦門　汕頭　上海　漢口　杭州　福州　芝罘　天津　牛莊　浦鹽斯德　晩香坡　シヤトル
桑港　ホノルヽ　シツニー
一海上ノ危險ヲ發見シ又ハ航海上現行圖誌ノ改補ニ必要ナル實驗ヲ爲シタルトキハ速ニ其當事者ヨリ直接水路部ニ報告アランコトヲ希望ス依テ便宜ノ爲メ水路報告用紙ト題セル印刷物若干部ヲ第一號ニ記セル各圖誌販賣所ニ備置キ無代價ニテ各航海者ノ要望ニ應ス但必スシモ此用紙ヲ用ユルニ及ハス

○生徒退校　海軍兵學校ニ於テ第四十期生徒熊本縣士族河西健ニ同校條例第二十二條第二項ニ依リ本月二十一日退校ヲ命セリ(海軍省)

○蹄鐵術卒業　騎兵第二十聯隊ニ於テハ本月二十一日、同第二十三聯隊及野砲兵第十二聯隊ニ於テハ同十八日、同第十三聯隊ニ於テハ同二十一日左記ノ者ニ各蹄鐵術卒業證書ヲ付與セリ(陸軍省)

騎兵第二十聯隊

京都府平民	騎兵一等卒	貝井　房治郎
奈良縣平民	騎兵二等卒	吉村　淸藏
奈良縣平民	騎兵一等卒	山口　竹治郎
京都府平民	騎兵二等卒	磯田　忠平
三重縣平民	騎兵一等卒	石田　常吉
滋賀縣士族	騎兵二等卒	楯岡　熊吉
京都府平民	騎兵一等卒	塚越　敬三
滋賀縣平民	騎兵一等卒	藤木　藤七
滋賀縣平民	騎兵二等卒	栗田　久吉
京都府平民	騎兵一等卒	鵜房　光治郎
滋賀縣平民	騎兵一等卒	植村　竹治郎
滋賀縣平民	歩兵一等卒	北村　音吉
滋賀縣平民	歩兵一等卒	今川　安吉
滋賀縣士族	歩兵一等卒	小板橋　重太郎
滋賀縣平民	歩兵一等卒	桂田　甚三郎
滋賀縣平民	歩兵一等卒	木村　善之助
三重縣平民	歩兵二等卒	木平　常助

同第二十三聯隊

山形縣平民	騎兵一等卒	渡會　廣造
新潟縣平民	騎兵二等卒	高橋　庸左衛門
岡山縣平民	騎兵二等卒	末武　嘉六
埼玉縣平民	騎兵二等卒	松永　松太郎
宮城縣平民	騎兵一等卒	佐藤　卯藏
福島縣平民	騎兵二等卒	遠野　淸次郎
北海道平民	騎兵二等卒	小川　鐵守
山形縣平民	騎兵一等卒	後藤　與惣太
宮城縣平民	騎兵二等卒	大江　九八
三重縣平民	騎兵二等卒	服部　恒雄
福島縣平民	騎兵一等卒	本田　近
廣島縣平民	騎兵一等卒	佐々木　重夫
三重縣平民	騎兵一等卒	杉野　彌治平

長野縣平民	騎兵二等卒	小玉　仙藏
新潟縣平民	騎兵二等卒	若林　廣太郎
岐阜縣平民	騎兵二等卒	丸茂　友一郎
長野縣平民	騎兵二等卒	小林　源一
三重縣平民	騎兵二等卒	神保　廣造
茨城縣平民	騎兵二等卒	益子　亥之介
茨城縣平民	騎兵一等卒	桑名　捨吉

野砲兵第十二聯隊

大分縣平民	砲兵一等卒	藍澤　來次郎
大分縣平民	砲兵二等卒	小野　庄松
大分縣平民	砲兵二等卒	封戸　鐵之助
大分縣平民	砲兵二等卒	小野　權平
大分縣平民	砲兵二等卒	今村　滿雄
山口縣平民	砲兵一等卒	新見　庄一
大分縣平民	砲兵二等卒	有永　村吉
大分縣平民	砲兵一等卒	黑木　政吾
大分縣平民	砲兵二等卒	丹生　乙松
大分縣平民	砲兵二等卒	新田　至
大分縣平民	砲兵二等卒	山室　正數
大分縣平民	砲兵二等卒	森脇　佐市
大分縣平民	砲兵二等卒	中西　政男
大分縣平民	砲兵二等卒	中山　高治
大分縣平民	砲兵二等卒	田島　淸太郎

同第十三聯隊

群馬縣平民	砲兵一等卒	新井　健治
茨城縣平民	砲兵一等卒	井坂　郁
栃木縣平民	砲兵一等卒	高根澤　耕一
群馬縣平民	砲兵一等卒	原　常三郎
栃木縣平民	砲兵二等卒	寺内　定次
栃木縣平民	砲兵一等卒	阿久津　喜藏
群馬縣平民	砲兵一等卒	上原　卓一
埼玉縣平民	砲兵一等卒	齋藤　光雄
群馬縣平民	砲兵二等卒	金子　光雄
栃木縣平民	砲兵二等卒	高瀨　平太
茨城縣平民	砲兵一等卒	小泉　喜雄
茨城縣平民	砲兵二等卒	細島　千代治
栃木縣平民	砲兵二等卒	坂本　光太郎
茨城縣平民	砲兵一等卒	飯田　兵四郎
茨城縣平民	砲兵二等卒	大木　友一郎
茨城縣平民	砲兵二等卒	莊司　三郎次
茨城縣平民	砲兵一等卒	岡部　豐吉

○所在不明徴兵終決處分未濟者異動　石川縣ニ於ケル所在不明ノ徴兵終決處分未濟者中和田與三吉(明治十二年一月二十七日生)ハ北海道石狩國空知郡三笠山村大字幾春別村炭山中島長屋三十四號ヘ轉籍セリ(北海道廳)

○不要徴兵終決處分者　奈良縣ニ於ケル所在不明ノ徴兵終決處分未濟者中所在發見、死亡及轉籍等ノタメ爾後調査ヲ要セサル者左ノ如シ(奈良縣)

本籍	氏名	生年月日(明治)
奈良市漢國町四	橫山　常治郎	一三、三、二五
同畑中町七	山岡　熊太郎	三、九、五
同高天町三	山脇　米吉	二、四、三
同漢國町四	西川　万治郎	元、三、二七
同高天町一九	福丸　菊松	元、六、三
同芝突拔町番外	松本　德太郎	一〇、八、三
添上郡柳生村大字柳生	山中　賢治郎	四、九、一
同櫟本町大字櫟本	阪手　龜藏	元、一、二
生駒郡平群村大字椹原一二	群原　竜吉	一六、三、一四
同村大字同	群原　右京	三、八、二五
同安堵村大字安堵	東田　榮治郎	八、一、一五
同郡山町大字堺五九	笠谷　音松	七、二、一五
同同町大字東奈良口四七	山北　菊松	一五、五、一
同同町大字奈良	三城　音吉	一三、三、三
同龍田町大字龍田二七〇	岩田　楢吉	三、二、一九
磯城郡多村大字多五二七	植岡　幸二	一四、三、二四
同川西村大字結崎	奥田　福松	三、七、一五
同三輪町大字金屋	西田　千代松	二、三、一三
同同町大字同三九	津村　庄藏	三、二、二
同大福村字大福	山本　梅吉	七、三、八
同櫻井町大字櫻井	鵜田　已藏	二、一〇、七
同初瀨町大字初瀨四六	坂口　龜吉	二〇、八、一〇
宇陀郡松山町大字上中一二	澤井　菊藏	二〇、八、二
同神戸村大字小附	林　奈良吉	四、一〇、一一
高市郡金橋村大字東防城	駿井　熊吉	一三、三、三
同八木町大字八木	平田　勇	二三、三、三
同同町大字同	多村　市松	二、四、四
同今井町大字今井	赤塚　藤二郎	一四、一〇、一三
北葛城郡當麻村大字當麻	池原　淸吉	一七、九、五
同磐城村大字長尾	吉川　益胤	三、二、三
同志都美村大字畠田一八五	松本　龜太郎	二〇、一、一四
同新庄村大字西室四	西川　平藏	一〇、三、一〇
南葛城郡秋津村大字蛇穴	吉田　重作	三、六、二
同同村大字池ノ内	寺岡　元治郎	一六、三、一五
同同村大字室一二一	中村　菊松	六、五、一九
同御所町四七六	司馬　由藏	二、一〇、二六
同同町九〇二	前田　奈良藏	二〇、二、五
同同町二〇六	村島　淺治郎	一三、四、一二
同西松本村六六一	高倉　大吉	七、五、一〇
同吐田鄕村大字名柄四	山本　普造	二、一、四
宇智郡野原村大字野原三三一	上田　榮造	一七、一、三
同宇智村大字宇野	水本　今吉	三、八、一八
吉野郡野迫川村大字北今西	岡　鶴松	一、八、二五

○軍艦發著　各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ

艦名	月日	著	發	行先
阿蘇・宗谷	四、二三		アデレード	アルバニー
富士	同	吳		
薩摩	同	玖波		
高雄	四、二四		四日市	橫須賀
出雲	同	佐世保		
武藏	同	根室		
宇治	同		長沙	岳州
明石	同	大冶		
比叡	四、二五		函館	室蘭
新高	同		舞鶴	宮津灣
千代田	同	吳		
須磨	同		上海	
八雲・見島・沖島・淀	同		旅順	營口ヲ經テ秦皇島

(海軍省)

獨國軍艦「シヤルンホルスト」、「ライプチヒ」、同驅逐艇「エス」九〇ハ靑島ヲ發シ本月二十日長崎ヘ投錨セリ(長崎縣)

○學事

○學位授與(昨二十五日ノ續)

學位記

京都府士族　正七位　眞島利行

右論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シ東京帝國大學理科大學教授會ニ於テ其大學院ニ入リ定規ノ試驗ヲ經タル者ト同等以上ノ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ理學博士ノ學位ヲ授ク

論文審査ノ要旨

第一　漆ノ主成分ニ就テ(第一報)(獨文)

本論文ハ獨逸化學會會報第四十二卷中ニ記述セラレタルモノニシテ漆ヲ「アルコール」ニテ浸出シ其蒸發殘滓ヲ更ニ多量ノ石油「エーテル」ニテ浸出スル法ニヨリテ精製シタル所謂漆酸並ニ著者カ曾テ創製シタル其「メチルエーテル」ヲ〇・四乃至〇・六粍ノ壓下ニ蒸餾シテ其餾出物ノ成分ヲ定メ其諸性質ヲ檢シ所謂漆酸ハ「カルボキシル」基ヲ含ム眞ノ有機酸ニアラスシテ其酸素原子ハ皆「フェノル」性ヲ有シ一種ノ二價「フェノル」ナルヲ證シ之ヲ漆酸ト呼フヨリモ寧ロ三山喜三郎氏ノ唱說セルカ如ク「ウルシオル」ト名ツクルノ妥當ナルヲ說キタルモノナリ

第二　漆ノ主成分ニ就テ(第二報)(獨文)

本論文モ獨逸化學會會報第四十二卷中ニ記述セラレタルモノニシテ「ウルシオル」ニ「メチルエーテル」ニ十五%ノ「オゾン」ヲ含ム酸素ヲ作用セシムレハ四「オゾニド」ヲ作リ「オイゲノルメチルエーテル」カ十五%ノ「オゾン」ノ爲メ三「オゾニド」トナルニ比スレハ「オゾン」ノ二分子ハ「ベンゼン」核ニ化合シ二分子ハ側鎖ニ化合スルモノナルヘク又「ウルシオル」ハ六%「オゾン」ノ作用ニヨリテ二「オゾニド」並ニ三「オゾニド」ヲ作リ「オイゲノルメチルエーテル」ハ一「オゾニド」トナルノミナレハ此際「オゾン」ハ孰レモ側鎖ニ入ルヘクシテ「ウルシオル」ハ側鎖ニ三箇ノ二重結合ヲ有スルモノナランカトシ又上記三種ノ「ウルシオル」ニ「メチルエーテル」ノ「オゾニド」ヲ水ト煮沸シテ分解セシムルトキハ炭酸、「アセトアルデヒド」、「オエナントル」、「ヘプタン」酸、蓚酸、「アゼライン」酸等ト共ニ「メトキシル」團二箇ヲ含ム一ノ芳香化合體ヲ生スルヲ檢シ「アセトアルデヒド」ト炭酸トヲ生ズルハ先ツ「マロン」酸「セミアルデヒド」ヲ生スル爲ナルヘシトシテ「ウルシオル」ノ側鎖ニ與フヘキ構

第8050号　本文

造ヲ二樣ニ想定シ「ウルシオル」ニ「メチルエーテル」ハ二種ノ互變異性體ノ混合物ニシテ其ノ兩種ノ關係ハ猶ホ「オイゲノル」ト「イソオイゲノル」トノ如キモノナラントシ「ウルシオル」ニ「メチルエーテル」ニ於テ初メテ斯カル互變異性體ノ存スルモノナルカ或ハ「ウルシオル」ニ於テ既ニ互變異性體ノアルナルカハ「ウルシオル」ノ二「アセチル」誘導體ノ「オゾニド」ノ檢査ニヨリテ之ヲ知ルヲ得ンカトシ又上記ノ側鎖ノ「ベンゼン」核ニ於ケル位置ハ上記ノ芳香化合體ノ研究ニヨリテ之ヲ知ルヲ得ンカトセルモノナリ

第三　「エレオステアリン」酸ノ構造ニ就テ（獨文）

本論文ハ獨逸化學會會報第四十二卷中ニ記述セラレタルモノニシテ桐油中ニ「グリセリンエステル」トシテ油酸ト共ニ存スル結晶性ノ酸化シ易キ脂肪酸ナル所謂「エレオステアリン」酸ニ「オゾン」ヲ作用セシムルトキハ其二「オゾニド」トナリ之ヲ水ト煮沸シテ分解セシムレハ「ヴレルアルデヒド」、「ヴレリアン」酸、「アゼライン」、「セミアルデヒト」、「アゼライン」酸等ト「ピロル」反應ヲ示ス物體ノ少量トヲ生スルコト等ヲ檢シテ「エレオステアリン」酸ノ成分カクロエツ並ニマクエンヌノ與ヘタル分子式ニ一致セス龜高德平氏ノ與ヘタル分子式ニ一致スルコトヲ證シ且ツ其構造ヲモ論定セルモノナリ

第四　「アルキルグアニヂン」ト「アセト」醋酸「エステル」等トノ縮合ニ就テ（獨文）

本論文ハ獨逸化學會會報第四十一卷中ニ記述セラレタルモノニシテ「メチルグアニヂン」ノ炭酸鹽ヲ「アセト」醋酸「エチルエステル」ト熱スルトキハ二種ノ二「メチルイミドウラシル」ヲ生シ其一ハ3「メチル」4「オキソ」2「イミド」6「メチル」四水素加「ピリミヂン」ニシテ一ハ2「メチルイミド」6「メチル」4「オキソ」四水素加「ピリミヂン」ナルコト、「アリルグアニヂン」ノ硫酸鹽モ「アセト」醋酸「エチルエステル」ト縮合シテ同樣ノ構造ヲ有スル二種ノ「メチルアリルイミドウラシル」ヲ生スルコト、「アセチルアセトン」ハ「メチルグアニヂン」炭酸鹽ト作用シテ2「メチルイミド」4、6二「メチル」二水素加「ピリミヂン」トナルコト、二「エチルマロン」酸二「エチルエステル」ハ「メチルグアニヂン」炭酸鹽ト縮合シテ2「メチルイミド」5、5二「エチル」4、6二「オキソ」六水素加「ピリミヂン」卽チ二「エチルマロニルメチルグアニヂン」トナルコト等ヲ檢シテ各生成體ノ構造ヲ證シ不對稱式ヲ有スル「アセト」醋酸「エステル」ハ二種ノ縮合體ヲ與フルニ對稱式ヲ有スル「アセチルアセトン」並ニ二「エチルマロン」酸「エステル」ハ一種ノ縮合體ヲ與フルノミナルヲ示シタルモノナリ

第五　漆酸ノ主成分ニ就テ（豫報）（獨文）（長俊一共著）

本論文ハ東京帝國大學紀要理科第二十五册並ニ獨逸化學會會報第四十卷中ニ記述セラレタルモノニシテ「アルコール」ト石油「エーテル」トニテ精製シタル漆酸ノ成分ヲ定メ其諸反應ヲ檢シ之ヲ乾溜ニ處スレハ諸種ノ開鎖式炭化水素並ニ「カテコル」ト與ニ少量ノ炭酸及ヒ脂肪酸等ヲ生シ又之ヲ硝酸ニテ酸化スレハ「スベリン」酸、琥珀酸、蓚酸等ヲ生スルヲ記シ又漆酸ニ「メチル」置換ヲ試ミテ從來未知ノ其「メチルエーテル」ヲ製シ又其「アセチル」誘導體ヲ製シ此等ノ結果ヨリシテ所謂ル漆酸ハ可ナリ大ナル炭水基ヲ含ム多價「フェノル」ナルヘキヲ示セルモノナリ

第六　「テルピネン」ノ構造ニ就テ（獨文）（カール、ハリエス共著）

本論文ハ獨逸化學會會報第四十一卷中ニ記述セラレタルモノニシテ「テルペン」族炭化水素中主要ナルモノヽ一ナル「テルピネン」ノ構造ヲ定メントノ研究ニ係リ「カルヹノン」ニ「ヒドロキシルアミン」ヲ作用セシムルトキ生スル二種ノ「カルヹノンオキシム」中結晶性ノモノヲ取リ之ヲ氷醋酸ニ溶解シ亞鉛末ニテ還元スレハ「カルヹニルイミン」トナルモ該「オキシム」ヲ「エーテル」ニ溶解シ「アルミニウムアマルガム」ニテ還元スレハ「カルヹニルアミン」卽チ2「アミノメンテン」3トナリ其燐酸鹽ヲ乾溜スルトキハ「カルヹネン」卽チ Δ1=3「メンタヂエン」ヲ生シ又「カルヹノン」一分子量ニ「ヒドロキシルアミン」鹽酸鹽二分子量ト「ナトリウムメチラート」二分子量トヲ作用セシムルトキハ「カルヹノンオキサミノオキシム」トナリ之ヲ酒精溶液ニ於テ「ナトリウム」ニテ還元スルトキハ「メンタヂアミン」2、4トナリ其燐酸鹽ヲ乾溜スルトキ亦「メンタヂエン」ヲ生スルモ斯クシテ得タルモノハ純粹單一ノモノニアラサルカ如キヲ示シ「テルピネン」ト「カルヹネン」トノ關係ヲ論シテ兩者ヲ同一物ナリトシ「テルピネン」カ Δ1=3「メンタヂエン」ナルヘキヲ說キタルモノナリ

第七　脂肪屬ノ二「アミン」類ノ二三ノ無水鹽基ニ就テ（獨文）（拜和爲昌共著）

本論文ハ東京帝國大學紀要理科第十九册並ニ獨逸化學會會報第三十六卷中ニ記述セラレタルモノニシテ「トリメチレン」二「アミン」ヲ無水ノ醋酸曹達ト混シテ熱スルトキハ約五十%ノ收量ヲ以テ「エテニルトリメチレン」二「アミン」卽チ2「メチル」四水素加「ピリミヂン」ヲ生シ同時ニ二「アセチルトリメチレン」二「アミン」ヲモ伴ヒ生シ「テトラメチレン」二「アミン」ヨリハ同樣ノ處理法ニヨリ「エテニルテトラメチレン」二「アミン」ナル複素七節環體ヲ生スルモ主トシテ二「アセチルテトラメチレン」二「アミン」ヲ生スルヲ檢シ「ラデンブルヒ」カ「エチレンヂアミン」ヨリ「リシヂン」卽チ「メチルグリオキサリヂン」ヲ得タルト比シテ所用ノ二「アミン」カ高級ナルホト斯カル複素環體ノ生成困難トナルコトヲ示シ且ツ上記兩複素環體ノ諸鹽類ノ性狀ヲ檢シ「エテニルトリメチレン」二「アミン」ノ尿酸鹽ノ水ニ溶解スルノ著シキコト等ヲ記セルモノナリ

以上ノ諸論文ヲ按スルニ第一、第二及ヒ第五ノ三編ハ多年化學界ノ問題ヲナセル漆ニ關スルモノニシテ此等ノ研究ニ依リ漆ノ主成分タル「ウルシオル」卽チ所謂漆酸ノ構造ハ未タ全ク決定セラルヽニ至ラスト雖モ大ニ闡明セラルヽ所アルニ至リ第三ニ於テ桐油中ノ脂肪酸ノ一ナル「エレオステアリン」酸ノ構造ヲ決定シ得タルヲ記述シ第六ニ於テ「テルペン」族炭化水素中主要ナルモノヽ一ナル「テルピネン」カ Δ1=3「メンタヂエン」ノ構造ヲ有スヘキヲ論述シ第四ト第七トハ二「アミン」體ト B位ニ「カルボニル」團アル「エステル」並ニ醋酸曹達トノ縮合ヲ研究シ其異同ヲ比較セルモノニシテ孰レモ學術上貢獻スル所尠ナカラス眞島利行ハ理學博士ノ學位ヲ授與セラルヘキ資格ヲ有スルモノト認定ス

學位記

岡山縣平民
從六位　片山正夫

右論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シ東京帝國大學理科大學教授會ニ於テ其大學院ニ入リ定規ノ試驗ヲ經タル者ト同等以上ノ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ理學博士ノ學位ヲ授ク

論文審査ノ要旨

第一　二元強電解質ノ疑點ニ就キテ（獨文）

本論文ハ明治四十一年東京帝國大學紀要理科第二十五卷第七篇トシテ公ニセラレタルモノナリ抑モ弱酸弱鹽基ノ如キ解離度小ナル電解質ノ稀薄水溶液ニ於ケル解離狀態カ單簡ナル前提ヨリ熱力學的ニ推論シタル所ト善ク一致スルニ反シ鹽類及ヒ強酸ノ如キ所謂強電解質ニ在テハ其關係カ全ク此ノ推論ト一致セサルハ物理化學上二十年來ノ疑問ニシテ之カ解決ヲ試ミタルモノ少ナカラス其關係ヲ表出スヘキ實驗的數式ノ提出セラレタルモノ亦多シト雖モ未タ滿足ナルモノアラス本論文ニ於テハ簡短ニ此等ノ試ミヲ略敍シタル後新ナル實驗的數式ヲ提出シ一價ノ陰陽「イオン」ヨリ成レル二元電解質ニ之ヲ適用シ電解傳導度、濃淡電池、分配係數、結氷點降下及ヒ稀釋熱ノ現今ニ於ケル最モ精確ナル測定數カ此ノ實驗式ニヨリテ最モ精密ニ表出セラルヘキ事ヲ示セリ其實驗式ハ形ニ於テハ稍々複雜ナレトモ唯二箇ノ實驗恆數（各物質ニ特有ノ）ヲ有スルモノニシテ之ヲ同數ノ實驗恆數ヲ有スル他ノ數式ニ比スレハ事實ヲ代表スルノ精密ナルヲ以テ勝レリトス且上記諸現象ノ間ニ存スヘキ數量上ノ關係ハ此ノ式ヲ以テ頗ル滿足ニ表サル著者カ議論ハネルンストノ所說ニ近似セリト雖モファンデルワールスノ式ニ據ラスシテ氣相ニ於ケル各化學種ノ分壓ニ關シテ特殊ノ假說ヲ設ケ直ニ之ヲ諸濃度ノ單簡ナル函數トセルヲ異ナリトス

第二　固態電解質ヲ有スル「アマルガム」濃淡電池、化合電池及ヒダニエル式電池ニ就キテ（獨文）

本論文ハ明治四十一年獨逸國物理化學雜誌第六十一册ニ於テ公ニセラレタルモノニシテ鹽化鉛ノ如キ固體鹽ヲ電解質トセル電池ノ電動力ヲ測定スル方法及ヒ種々ノ電池ニ就キテ之ヲ測定シタル結果ヲ掲載セリ測定ハ常溫乃至百六十度ノ間ニ行ハレ固體鹽ノ熔融點ヲ距ル事遠ク其抵抗甚タ大ナルヲ以テ常法ノ如ク「ガルヴァノメートル」ヲ使用スルヲ得ス「クワドラント＝エレクトロメートル」ヲ「ヌル＝インストルーメント」トシ償顯法ニ依リ測定ヲ行ヒタルモノニシテ其ノ得タル結果ハ比較的精密ナルモノト云フヲ得ヘシ鹽化鉛ヲ電解質トシ濃度ヲ異ニセル鉛「アマルガム」ヲ兩極トセル電池ノ電動力ハネルンストノ式ニテ計算スル所トヨク一致シテ測定法ノ精確ナルヲ示セリ固態鹽化銀ヲ電解質トシ其兩極ニ銀及ヒ鹽素ヲ置キテ其電動力ヲ測レル場合ノ如キハ電解質カ氣密ナラスシテ兩

（一四）

極ノ物質ヲ隔絶スル能ハサル爲メニ困難ヲ呈セルモ遂ニ之ヲ排除スルヲ得タリ此ノ如キ電池ノ電動力ハ鹽素ト銀カ化合シテ固態鹽化銀ヲ生スル親和力ヲ示スモノナルカ同樣ノ方法ニ依リテ鹽化鉛及ヒ臭化鉛ノ合成スル場合ノ親和力ヲモ測定セリ次ニ鹽化銀ト鹽化鉛ト若クハ臭化銀ト臭化鉛トヲ電解質トシ銀ト鉛ヲ兩極トナシタル電池ニ於テハ鉛ハ鹽化鉛若クハ臭化鉛ニ變シ鹽化銀若クハ臭化銀ハ銀ヲ遊離スルモノニシテ其關係ハ全クダニエル電池ト同樣ナルカ斯ク二種ノ固態電解質アル場合ニモ好結果ヲ得タリ總テ是等ノ固態電池ノ電動力ハ溫度ニ比例シテ減少セリ最後ニ鹽化銀及ヒ臭化銀ヲ電解質トシ銀ヲ兩極トセルカ此場合ニハ豫想セラルヽ通リ電動力ハ零ナリキ

第三　固態ヲ有スル電池ノ熱力學ニ就キテ（獨文）（リハルド、ロレンツ共著）

本論文ハ明治四十一年獨逸國物理化學雜誌第六十二册ニ於テ公ニセラレタルモノニシテ電池ノ電動力ト其溫度係數及ヒ反應熱トノ關係ヲ示セルギッブス、ヘルムホルツ方程式ニ於テ其反應熱ヲ普通ノ如ク恆溫恆容ノモノトセスシテ恆溫恆壓下ノ反應熱トスレハ此ノ方程式ハ恆溫恆壓下ニ於ケル關係ヲ示スモノナルコトヲ首ニ證明シ次ニ此ノ方程式ヲ前篇ニ記述セル固體電池ニ適用シ其電動力ト其溫度係數トヨリ反應熱ヲ計算シテ之ヲ熱化學的測定ノ結果ト比較スルニ頗ルヨク一致セリ尙ホ鹽類ノ成生熱ト其溶解度ノ關係ヲ論セルボードレンデルノ說ニ論及セリ

第四　蒸氣密度測定ノ一便法、含水硫酸及ヒ過酸化窒素ノ解離（獨文）（マックス、ボーデンスタイン共著）

本論文ハ明治四十二年獨逸國物理化學雜誌第六十九册ニ於テ公ニシタルモノニシテ珪酸硝子製ラーデンブルヒ壓力計ヲ「ヌル＝インストルーメント」トシテ一定容積ノ器中ニ於テ一定量ノ物質カ或溫度ニ於テ氣體トシテ呈スル壓力ヲ測定シ之レニ依リテ其物質ノ密度及ヒ解離度ヲ測定スル方法ヲ詳記シ此方法ヲ應用シテ含水硫酸カ種々ノ溫度ニ於テ如何ノ程度マテ無水硫酸及ヒ水蒸氣ニ解離スルカヲ測定シ又過酸化窒素ノ酸素ト酸化窒素トニ解離スル程度ヲ測定セル結果ヲ記載セリ其測定シ得タル數ハ頗ル規則正シキモノニシテ近時ネルンストノ唱道セル熱化學的理論ニ照スニ甚タヨク適合セルヲ看ルナリ

上記四篇ノ論文ヲ按スルニ第一篇ニ提出セル實驗的數式ハ獨リ電氣傳導度ノミナラス濃淡電池ノ電動力、結氷點ノ降下等二元強電解質ノ解離度ト關聯セル種々ノ事柄ヲ最モ精密ニ表出スルモノニシテ未タ以テ此等ノ電解質ニ關聯スル疑問ヲ解決スルニ足ラスト雖モ他日之ヲ解決スルニ頗ル有效ナル資料タルハ疑ヲ容レサルナリ第二篇ニ記述セル實驗的研究ハ實驗其物カ既ニ注目ニ價スルノミナラス種々ノ點ヨリ見テ頗ル重要ナルモノニシテ固體化合物成生ノ化學的親和力ヲ最モ確實ニ測定シ得ヘキコトヲ示シ且ツ固體間ニ於ケル反應ニ伴フ遊離「エネルギー」ノ變化ト總「エネルギー」ノ變化ニ關スル重要ノ問題ヲ實驗的ニ解決シ若クハ解決スヘキ手段ヲ與ヘタルモノナリ第三篇ノ論文ハ第二篇ノ研究ノ理論トモ云フヘキモノニシテ同時ニ其研究ノ結果ヲ用ヒテ反應熱ヲ推定シ之ヲ熱化學的測定ノ結果ト比較シ依テ以テ其實驗ノ精確ナルヲ間接ニ證明セリ第四篇ノ實驗的研究ハ單ニ高溫度ニ於ケル氣體密度測定ノ便利ナル方法ヲ與ヘタルノミナラス學術上及ヒ應用上頗ル重要ナル硫酸及ヒ二酸化窒素ノ解離現象ヲ闡明シタルハ其功亦少ナリトセス之ヲ要スルニ片山正夫ハ是等ノ研究ニ依リテ學術ニ貢獻スル所少ナカラス仍テ理學博士ノ學位ヲ授與セラルヘキ資格ヲ有スルモノト認定ス

（未完）

○產業

○牛疫發生　本月二十日警視廳及神奈川、埼玉、千葉三縣ヨリ牛疫發生ニ關シ左ノ如ク報告アリ（農商務省）

發生地	斃死	撲殺
東京府北豐島郡巣鴨町	一頭	四頭
神奈川縣橘樹郡城郷村	―	二
埼玉縣入間郡霞ケ關村		一
千葉縣君津郡佐貫町		三

○補助金交付　岩手縣立農事試驗場ニ苹果病蟲害驅除豫防試驗ニ關シ明治四十三年度ニ金千四十圓ヲ、稻作ニ關スル試驗擴張ノタメ同年度ヨリ向フ五箇年每一箇年金二百六十圓ヲ產業試驗費講習費國庫補助法ニ依リ增加交付スル旨本月二十三日指令セリ（農商務省）

○純金相場　本月十八日ヨリ二十三日ニ至ル各日純金相場百匁ニ付キ五百圓ナリ（日本銀行ノ報告ニ據ル）

○磅相場　本月十八日ヨリ二十三日ニ至ル各日磅相場一磅ニ付キ九圓八十四錢六厘一毛ナリ（横濱正金銀行報告ニ據ル）

○農商務省商品陳列館景況　農商務省商品陳列館去月中ノ景況左ノ如シ（農商務省）

開館日數　三十一日　來觀人別（内國人　二七、二二五人／外國人　四五〇）　合計　二七、六七五人　一日ノ平均　八九二強

同月中陳列ノタメ收受シタル標本ハ總計二百五十一點ニシテ其内譯左ノ如シ

新著品

品名	點數	府縣	出品者
「シャツ」類	八	東京	潮谷合名會社出品
時計類	三五	同	服部金太郎出品
板硝子	三〇	大阪	旭硝子株式會社出品
天鵞絨類	七	滋賀	近江「ヴェルベット」會社出品
折紙人形	三	東京	内山道郎出品
硬質陶器	三	愛知	松村八次郎出品
綿「ネル」	一	滋賀	吹田惣之助出品
同	一	同	宮川久右衛門出品
白綿	一	同	木庄又兵衛支店出品
同	一	同	大濱町販賣購買生產組合出品
綿縮及綿「フランネル」	二	同	吉村幸七出品
綿縮	二	同	大藤龜吉出品
玩具	二九	兵庫	田中龜之進出品
蜂蜜	一	三重	位田三吉出品
油類	三	同	四日市製油場出品
壁紙	七	東京	山路直三出品
金屬製品	三	同	鈴屋鶴五郎ヨリ購入
硝子製品	三〇	同	旭硝子合資會社東京支店ヨリ購入
象牙製品	七	同	世繼富五郎ヨリ購入
窓飾組紐「レース」及ク、リ房	二	同	鳥羽和太郎ヨリ購入
陶製品	五	同	川西花次郎ヨリ購入
熨斗絲	一	同	木島滿ヨリ購入
延變子	一	同	西田嘉兵衛ヨリ購入
陶器	六	愛知	加藤紋右衛門ヨリ購入
銅器	一	大阪	高尾定七ヨリ購入
漆器	一	石川	鶴田和三郎ヨリ購入
織物類	三	群馬	兩毛整織會社ヨリ購入
陶器	一	佐賀	香蘭合名會社ヨリ購入
清國產絹布類	一九		本省囑託宮崎駿兒購送

（一五）

錄事

第一回商品改良會　同月一日ヨリ二十五日（十日間延期）マテ第一回商品改良會（玩具）ヲ開館セシニ出品人九十八、出品點數五百七十七點ニシテ審査ノ結果授賞ニ入リシモノ左ノ如シ

授賞品名	授賞者住所	氏名
二等賞銀牌		
竹ト經木製菓子入、張子細工	大阪市東區北久寶寺町三丁目	科野合名會社
人種表示時計附地球儀	東京市下谷區西黑門町二三	杉本五助
三等賞銅牌		
紙製動物	三重縣三重郡日永村大字泊村	松岡政市
西洋人形	大阪市東區住吉町四四	高松德三郎
紙綿細工	京都市下京區新道隔突下ル博多町五八	小林幸
護謨吸附弓鐵砲	東京市淺草區猿屋町三	小川清次郎
（砂戯用）自轉花車	同市同區北富坂町一八	長田仙之助
曲乘自動車	同市深川區清住町二〇	長德三郎
點取射的	同	長友五郎
艦隊積木	同市日本橋區馬喰町三ノ二〇	小島百藏
新案電話	同市淺草區千束町二ノ三四〇	吉永信之助
卵形菓子入	大阪市東區北久寶寺町三ノ四	科野合名會社
紙細工	京都市富小路四條南二	清水勝藏
護謨製改良風車	東京市淺草區茅町二ノ二四	栗林林兵衛
小形船車取合セ	同市同區南元町五三	竹岡新太郎
發彈文字搦鳥	同市下谷區西黑門町二三	杉本五助
浮テコイ	同市神田區仲猿樂町六	關川常介

第8050号　本文

○電報通數及料金内地臺灣發其他ノ各局所ニ於テ昨四十二年九月中取扱ヒタル内外國電報通數並ニ料金左ノ如シ（但シ料金ハ減印ノ分ヲ除ク）

發局	通數	料金
内地	七五七	四圓九五錢
臺灣	一〇	一圓一〇錢
樺太	一	一〇錢
朝鮮	一	一〇錢
清國	一	一〇錢
合計	七六九	六圓一五錢

○電報通數及料金内地臺灣發其他ノ各局所ニ於テ昨四十二年九月中取扱ヒタル内外國電報通數並ニ料金左ノ如シ（但シ料金ハ減印ノ分ヲ除ク）

着局	通數	料金
内地	一、一〇一	七圓一〇錢
臺灣	一	一〇錢
樺太	一	一〇錢
朝鮮	一	一〇錢
清國	一	一〇錢
合計	一、一〇四	七圓五〇錢

○電報通數及料金内地臺灣發其他ノ各局所ニ於テ昨四十二年九月中取扱ヒタル内外國電報通數並ニ料金左ノ如シ（但シ料金ハ減印ノ分ヲ除ク）

發着局	通數	料金
内地	一、八七八	一一圓八五錢
臺灣	一一	一圓一〇錢
樺太	一	一〇錢
朝鮮	二	二〇錢
清國	二	二〇錢
合計	一、八九四	一二圓四五錢

○傳染病患者及死亡者數左ノ如シ（内務省）

去月一日ヨリ二十五日ニ至ル赤痢腸窒扶斯痘瘡患者及死亡者數ハ未印報告ノ分

港名	赤痢 患者	赤痢 死者	腸窒扶斯 患者	腸窒扶斯 死者	痘瘡 患者	痘瘡 死者
北海道	一	一	一	一	一	一
東京	一	一	一	一	一	一
大阪	一	一	一	一	一	一
静岡	一	一	一	一	一	一
長崎	一	一	一	一	一	一
神奈川	一	一	一	一	一	一
兵庫	一	一	一	一	一	一
福岡	一	一	一	一	一	一
合計	八	八	八	八	八	八

○傳染病患者及死亡者數左ノ如シ（内務省）

去月一日ヨリ二十五日ニ至ル赤痢腸窒扶斯痘瘡患者及死亡者數ハ未印報告ノ分

港名	赤痢 患者	赤痢 死者	腸窒扶斯 患者	腸窒扶斯 死者	痘瘡 患者	痘瘡 死者
北海道	一	一	一	一	一	一
東京	一	一	一	一	一	一
大阪	一	一	一	一	一	一
静岡	一	一	一	一	一	一
長崎	一	一	一	一	一	一
神奈川	一	一	一	一	一	一
兵庫	一	一	一	一	一	一
福岡	一	一	一	一	一	一
合計	八	八	八	八	八	八

○在外公館報告

○牛莊港衛生區域中擴張ノ件

牛莊港衛生區域中擴張ノ件ヲ同地駐在領事左ノ如ク報告ヲ以テ本月十五日附ヲ（外務省）

○牛莊港衛生區域中擴張ノ件

牛莊港衛生區域中擴張ノ件ヲ同地駐在領事左ノ如ク報告ヲ以テ本月十五日附ヲ（外務省）

○傳染病月報

去月中ノ傳染病狀況ニ付在外公館ヨリ月報左ノ如シ

○傳染病月報

去月中ノ傳染病狀況ニ付在外公館ヨリ月報左ノ如シ

○香港痘瘡週報

香港ニ於ケル痘瘡患者ニ關スル週報左ノ如シ（外務省）

○香港痘瘡週報

香港ニ於ケル痘瘡患者ニ關スル週報左ノ如シ（外務省）

第8050号　本文

○觀象

○全國氣象

○地震

○暴風警報

○東京地方大氣狀態

○東京氣象

○天氣概況

○雨量

○氣象電報

○土地收用公告

第8050号　本文

地、五五三、五五四、五五六烟、五五六ノ二、五六二、五六四ノ一、五六六、五六八、五六九烟、五六ノ二、五六三、五六四ノ二、五六五、五六八、六ノ一、六ノ二、六ノ三、六ノ四、六ノ五、六ノ六、六ノ七、六ノ八、六ノ九、六ノ一〇、六ノ一一、六ノ一二、六ノ一三、六ノ一四、六ノ一五、六ノ一六、六ノ一七、六ノ一八、六ノ一九、六ノ二〇、六ノ二一、六ノ二二、六ノ二三、六ノ二四、六ノ二五、六ノ二六、六ノ二七、六ノ二八、六ノ二九、六ノ三〇、六ノ三一、六ノ三二、六ノ三三、六ノ三四、六ノ三五、六ノ三六、六ノ三七、六ノ三八、六ノ三九、六ノ四〇、六ノ四一、六ノ四二、六ノ四三、六ノ四四、六ノ四五、六ノ四六、六ノ四七、六ノ四八、六ノ四九、六ノ五〇、六ノ五一、六ノ五二、六ノ五三、六ノ五四、六ノ五五、六ノ五六、六ノ五七、六ノ五八、六ノ五九、六ノ六〇、六ノ六一、六ノ六二、六ノ六三、六ノ六四、六ノ六五、六ノ六六、六ノ六七、六ノ六八、六ノ六九、六ノ七〇、六ノ七一、六ノ七二、六ノ七三、六ノ七四、六ノ七五、六ノ七六、六ノ七七、六ノ七八、六ノ七九、六ノ八〇、六ノ八一、六ノ八二、六ノ八三、六ノ八四、六ノ八五、六ノ八六、六ノ八七、六ノ八八、六ノ八九、六ノ九〇、六ノ九一、六ノ九二、六ノ九三、六ノ九四、六ノ九五、六ノ九六、六ノ九七、六ノ九八、六ノ九九、六ノ一〇〇、六ノ一〇一、六ノ一〇二、六ノ一〇三、六ノ一〇四、六ノ一〇五、六ノ一〇六、六ノ一〇七、六ノ一〇八、六ノ一〇九、六ノ一一〇、六ノ一一一、六ノ一一二、六ノ一一三、六ノ一一四、六ノ一一五、六ノ一一六、六ノ一一七、六ノ一一八、六ノ一一九、六ノ一二〇、六ノ一二一、六ノ一二二、六ノ一二三、六ノ一二四、六ノ一二五、六ノ一二六、六ノ一二七、六ノ一二八、六ノ一二九、六ノ一三〇、六ノ一三一、六ノ一三二、六ノ一三三、六ノ一三四、六ノ一三五、六ノ一三六、六ノ一三七、六ノ一三八、六ノ一三九、六ノ一四〇、六ノ一四一、六ノ一四二、六ノ一四三、六ノ一四四、六ノ一四五、六ノ一四六、六ノ一四七、六ノ一四八、六ノ一四九、六ノ一五〇、六ノ一五一、六ノ一五二、六ノ一五三、六ノ一五四、六ノ一五五、六ノ一五六、六ノ一五七、六ノ一五八、六ノ一五九、六ノ一六〇、六ノ一六一、六ノ一六二、六ノ一六三、六ノ一六四、六ノ一六五、六ノ一六六、六ノ一六七、六ノ一六八、六ノ一六九、六ノ一七〇、六ノ一七一、六ノ一七二、六ノ一七三、六ノ一七四、六ノ一七五、六ノ一七六、六ノ一七七、六ノ一七八、六ノ一七九、六ノ一八〇、六ノ一八一、六ノ一八二、六ノ一八三、六ノ一八四、六ノ一八五、六ノ一八六、六ノ一八七、六ノ一八八、六ノ一八九、六ノ一九〇、六ノ一九一、六ノ一九二、六ノ一九三、六ノ一九四、六ノ一九五、六ノ一九六、六ノ一九七、六ノ一九八、六ノ一九九、六ノ二〇〇、六ノ二〇一、六ノ二〇二、六ノ二〇三、六ノ二〇四、六ノ二〇五、六ノ二〇六、六ノ二〇七、六ノ二〇八、六ノ二〇九、六ノ二一〇、六ノ二一一、六ノ二一二、六ノ二一三、六ノ二一四、六ノ二一五、六ノ二一六、六ノ二一七、六ノ二一八、六ノ二一九、六ノ二二〇、六ノ二二一、六ノ二二二、六ノ二二三、六ノ二二四、六ノ二二五、六ノ二二六、六ノ二二七、六ノ二二八、六ノ二二九、六ノ二三〇、六ノ二三一、六ノ二三二、六ノ二三三、六ノ二三四、六ノ二三五、六ノ二三六、六ノ二三七、六ノ二三八、六ノ二三九、六ノ二四〇、六ノ二四一、六ノ二四二、六ノ二四三、六ノ二四四、六ノ二四五、六ノ二四六、六ノ二四七、六ノ二四八、六ノ二四九、六ノ二五〇、六ノ二五一、六ノ二五二、六ノ二五三、六ノ二五四、六ノ二五五、六ノ二五六、六ノ二五七、六ノ二五八、六ノ二五九、六ノ二六〇、六ノ二六一、六ノ二六二、六ノ二六三、六ノ二六四、六ノ二六五、六ノ二六六、六ノ二六七、六ノ二六八、六ノ二六九、六ノ二七〇、六ノ二七一、六ノ二七二、六ノ二七三、六ノ二七四、六ノ二七五、六ノ二七六、六ノ二七七、六ノ二七八、六ノ二七九、六ノ二八〇、六ノ二八一、六ノ二八二、六ノ二八三、六ノ二八四、六ノ二八五、六ノ二八六、六ノ二八七、六ノ二八八、六ノ二八九、六ノ二九〇、六ノ二九一、六ノ二九二、六ノ二九三、六ノ二九四、六ノ二九五、六ノ二九六、六ノ二九七、六ノ二九八、六ノ二九九、六ノ三〇〇、六ノ三〇一、六ノ三〇二、六ノ三〇三、六ノ三〇四、六ノ三〇五、六ノ三〇六、六ノ三〇七、六ノ三〇八、六ノ三〇九、六ノ三一〇、六ノ三一一、六ノ三一二、六ノ三一三、六ノ三一四、六ノ三一五、六ノ三一六、六ノ三一七、六ノ三一八、六ノ三一九、六ノ三二〇、六ノ三二一、六ノ三二二、六ノ三二三、六ノ三二四、六ノ三二五、六ノ三二六、六ノ三二七、六ノ三二八、六ノ三二九、六ノ三三〇、六ノ三三一、六ノ三三二、六ノ三三三、六ノ三三四、六ノ三三五、六ノ三三六、六ノ三三七、六ノ三三八、六ノ三三九、六ノ三四〇、六ノ三四一、六ノ三四二、六ノ三四三、六ノ三四四、六ノ三四五、六ノ三四六、六ノ三四七、六ノ三四八、六ノ三四九、六ノ三五〇、六ノ三五一、六ノ三五二、六ノ三五三、六ノ三五四、六ノ三五五、六ノ三五六、六ノ三五七、六ノ三五八、六ノ三五九、六ノ三六〇、六ノ三六一、六ノ三六二、六ノ三六三、六ノ三六四、六ノ三六五、六ノ三六六、六ノ三六七、六ノ三六八、六ノ三六九、六ノ三七〇、六ノ三七一、六ノ三七二、六ノ三七三、六ノ三七四、六ノ三七五、六ノ三七六、六ノ三七七、六ノ三七八、六ノ三七九、六ノ三八〇、六ノ三八一、六ノ三八二、六ノ三八三、六ノ三八四、六ノ三八五、六ノ三八六、六ノ三八七、六ノ三八八、六ノ三八九、六ノ三九〇、六ノ三九一、六ノ三九二、六ノ三九三、六ノ三九四、六ノ三九五、六ノ三九六、六ノ三九七、六ノ三九八、六ノ三九九、六ノ四〇〇、六ノ四〇一、六ノ四〇二、六ノ四〇三、六ノ四〇四、六ノ四〇五、六ノ四〇六、六ノ四〇七、六ノ四〇八、六ノ四〇九、六ノ四一〇、六ノ四一一、六ノ四一二、六ノ四一三、六ノ四一四、六ノ四一五、六ノ四一六、六ノ四一七、六ノ四一八、六ノ四一九、六ノ四二〇、六ノ四二一、六ノ四二二、六ノ四二三、六ノ四二四、六ノ四二五、六ノ四二六、六ノ四二七、六ノ四二八、六ノ四二九、六ノ四三〇、六ノ四三一、六ノ四三二、六ノ四三三、六ノ四三四、六ノ四三五、六ノ四三六、六ノ四三七、六ノ四三八、六ノ四三九、六ノ四四〇、六ノ四四一、六ノ四四二、六ノ四四三、六ノ四四四、六ノ四四五、六ノ四四六、六ノ四四七、六ノ四四八、六ノ四四九、六ノ四五〇、六ノ四五一、六ノ四五二、六ノ四五三、六ノ四五四、六ノ四五五、六ノ四五六、六ノ四五七、六ノ四五八、六ノ四五九、六ノ四六〇、六ノ四六一、六ノ四六二、六ノ四六三、六ノ四六四、六ノ四六五、六ノ四六六、六ノ四六七、六ノ四六八、六ノ四六九、六ノ四七〇、六ノ四七一、六ノ四七二、六ノ四七三、六ノ四七四、六ノ四七五、六ノ四七六、六ノ四七七、六ノ四七八、六ノ四七九、六ノ四八〇、六ノ四八一、六ノ四八二、六ノ四八三、六ノ四八四、六ノ四八五、六ノ四八六、六ノ四八七、六ノ四八八、六ノ四八九、六ノ四九〇、六ノ四九一、六ノ四九二、六ノ四九三、六ノ四九四、六ノ四九五、六ノ四九六、六ノ四九七、六ノ四九八、六ノ四九九、六ノ五〇〇、六ノ五〇一、六ノ五〇二、六ノ五〇三、六ノ五〇四、六ノ五〇五、六ノ五〇六、六ノ五〇七、六ノ五〇八、六ノ五〇九、六ノ五一〇、六ノ五一一、六ノ五一二、六ノ五一三、六ノ五一四、六ノ五一五、六ノ五一六、六ノ五一七、六ノ五一八、六ノ五一九、六ノ五二〇、六ノ五二一、六ノ五二二、六ノ五二三、六ノ五二四、六ノ五二五、六ノ五二六、六ノ五二七、六ノ五二八、六ノ五二九、六ノ五三〇、六ノ五三一、六ノ五三二、六ノ五三三、六ノ五三四、六ノ五三五、六ノ五三六、六ノ五三七、六ノ五三八、六ノ五三九、六ノ五四〇、六ノ五四一、六ノ五四二、六ノ五四三、六ノ五四四、六ノ五四五、六ノ五四六、六ノ五四七、六ノ五四八、六ノ五四九、六ノ五五〇、六ノ五五一、六ノ五五二、六ノ五五三、六ノ五五四、六ノ五五五、六ノ五五六、六ノ五五七、六ノ五五八、六ノ五五九、六ノ五六〇、六ノ五六一、六ノ五六二、六ノ五六三、六ノ五六四、六ノ五六五、六ノ五六六、六ノ五六七、六ノ五六八、六ノ五六九、六ノ五七〇、六ノ五七一、六ノ五七二、六ノ五七三、六ノ五七四、六ノ五七五、六ノ五七六、六ノ五七七、六ノ五七八、六ノ五七九、六ノ五八〇、六ノ五八一、六ノ五八二、六ノ五八三、六ノ五八四、六ノ五八五、六ノ五八六、六ノ五八七、六ノ五八八、六ノ五八九、六ノ五九〇、六ノ五九一、六ノ五九二、六ノ五九三、六ノ五九四、六ノ五九五、六ノ五九六、六ノ五九七、六ノ五九八、六ノ五九九、六ノ六〇〇、六ノ六〇一、六ノ六〇二、六ノ六〇三、六ノ六〇四、六ノ六〇五、六ノ六〇六、六ノ六〇七、六ノ六〇八、六ノ六〇九、六ノ六一〇、六ノ六一一、六ノ六一二、六ノ六一三、六ノ六一四、六ノ六一五、六ノ六一六、六ノ六一七、六ノ六一八、六ノ六一九、六ノ六二〇、六ノ六二一、六ノ六二二、六ノ六二三、六ノ六二四、六ノ六二五、六ノ六二六、六ノ六二七、六ノ六二八、六ノ六二九、六ノ六三〇、六ノ六三一、六ノ六三二、六ノ六三三、六ノ六三四、六ノ六三五、六ノ六三六、六ノ六三七、六ノ六三八、六ノ六三九、六ノ六四〇、六ノ六四一、六ノ六四二、六ノ六四三、六ノ六四四、六ノ六四五、六ノ六四六、六ノ六四七、六ノ六四八、六ノ六四九、六ノ六五〇、六ノ六五一、六ノ六五二、六ノ六五三、六ノ六五四、六ノ六五五、六ノ六五六、六ノ六五七、六ノ六五八、六ノ六五九、六ノ六六〇、六ノ六六一、六ノ六六二、六ノ六六三、六ノ六六四、六ノ六六五、六ノ六六六、六ノ六六七、六ノ六六八、六ノ六六九、六ノ六七〇、六ノ六七一、六ノ六七二、六ノ六七三、六ノ六七四、六ノ六七五、六ノ六七六、六ノ六七七、六ノ六七八、六ノ六七九、六ノ六八〇、六ノ六八一、六ノ六八二、六ノ六八三、六ノ六八四、六ノ六八五、六ノ六八六、六ノ六八七、六ノ六八八、六ノ六八九、六ノ六九〇、六ノ六九一、六ノ六九二、六ノ六九三、六ノ六九四、六ノ六九五、六ノ六九六、六ノ六九七、六ノ六九八、六ノ六九九、六ノ七〇〇、六ノ七〇一、六ノ七〇二、六ノ七〇三、六ノ七〇四、六ノ七〇五、六ノ七〇六、六ノ七〇七、六ノ七〇八、六ノ七〇九、六ノ七一〇、六ノ七一一、六ノ七一二、六ノ七一三、六ノ七一四、六ノ七一五、六ノ七一六、六ノ七一七、六ノ七一八、六ノ七一九、六ノ七二〇、六ノ七二一、六ノ七二二、六ノ七二三、六ノ七二四、六ノ七二五、六ノ七二六、六ノ七二七、六ノ七二八、六ノ七二九、六ノ七三〇、六ノ七三一、六ノ七三二、六ノ七三三、六ノ七三四、六ノ七三五、六ノ七三六、六ノ七三七、六ノ七三八、六ノ七三九、六ノ七四〇、六ノ七四一、六ノ七四二、六ノ七四三、六ノ七四四、六ノ七四五、六ノ七四六、六ノ七四七、六ノ七四八、六ノ七四九、六ノ七五〇、六ノ七五一、六ノ七五二、六ノ七五三、六ノ七五四、六ノ七五五、六ノ七五六、六ノ七五七、六ノ七五八、六ノ七五九、六ノ七六〇、六ノ七六一、六ノ七六二、六ノ七六三、六ノ七六四、六ノ七六五、六ノ七六六、六ノ七六七、六ノ七六八、六ノ七六九、六ノ七七〇、六ノ七七一、六ノ七七二、六ノ七七三、六ノ七七四、六ノ七七五、六ノ七七六、六ノ七七七、六ノ七七八、六ノ七七九、六ノ七八〇、六ノ七八一、六ノ七八二、六ノ七八三、六ノ七八四、六ノ七八五、六ノ七八六、六ノ七八七、六ノ七八八、六ノ七八九、六ノ七九〇、六ノ七九一、六ノ七九二、六ノ七九三、六ノ七九四、六ノ七九五、六ノ七九六、六ノ七九七、六ノ七九八、六ノ七九九、六ノ八〇〇、六ノ八〇一、六ノ八〇二、六ノ八〇三、六ノ八〇四、六ノ八〇五、六ノ八〇六、六ノ八〇七、六ノ八〇八、六ノ八〇九、六ノ八一〇、六ノ八一一、六ノ八一二、六ノ八一三、六ノ八一四、六ノ八一五、六ノ八一六、六ノ八一七、六ノ八一八、六ノ八一九、六ノ八二〇、六ノ八二一、六ノ八二二、六ノ八二三、六ノ八二四、六ノ八二五、六ノ八二六、六ノ八二七、六ノ八二八、六ノ八二九、六ノ八三〇、六ノ八三一、六ノ八三二、六ノ八三三、六ノ八三四、六ノ八三五、六ノ八三六、六ノ八三七、六ノ八三八、六ノ八三九、六ノ八四〇、六ノ八四一、六ノ八四二、六ノ八四三、六ノ八四四、六ノ八四五、六ノ八四六、六ノ八四七、六ノ八四八、六ノ八四九、六ノ八五〇、六ノ八五一、六ノ八五二、六ノ八五三、六ノ八五四、六ノ八五五、六ノ八五六、六ノ八五七、六ノ八五八、六ノ八五九、六ノ八六〇、六ノ八六一、六ノ八六二、六ノ八六三、六ノ八六四、六ノ八六五、六ノ八六六、六ノ八六七、六ノ八六八、六ノ八六九、六ノ八七〇、六ノ八七一、六ノ八七二、六ノ八七三、六ノ八七四、六ノ八七五、六ノ八七六、六ノ八七七、六ノ八七八、六ノ八七九、六ノ八八〇、六ノ八八一、六ノ八八二、六ノ八八三、六ノ八八四、六ノ八八五、六ノ八八六、六ノ八八七、六ノ八八八、六ノ八八九、六ノ八九〇、六ノ八九一、六ノ八九二、六ノ八九三、六ノ八九四、六ノ八九五、六ノ八九六、六ノ八九七、六ノ八九八、六ノ八九九、六ノ九〇〇、六ノ九〇一、六ノ九〇二、六ノ九〇三、六ノ九〇四、六ノ九〇五、六ノ九〇六、六ノ九〇七、六ノ九〇八、六ノ九〇九、六ノ九一〇、六ノ九一一、六ノ九一二、六ノ九一三、六ノ九一四、六ノ九一五、六ノ九一六、六ノ九一七、六ノ九一八、六ノ九一九、六ノ九二〇、六ノ九二一、六ノ九二二、六ノ九二三、六ノ九二四、六ノ九二五、六ノ九二六、六ノ九二七、六ノ九二八、六ノ九二九、六ノ九三〇、六ノ九三一、六ノ九三二、六ノ九三三、六ノ九三四、六ノ九三五、六ノ九三六、六ノ九三七、六ノ九三八、六ノ九三九、六ノ九四〇、六ノ九四一、六ノ九四二、六ノ九四三、六ノ九四四、六ノ九四五、六ノ九四六、六ノ九四七、六ノ九四八、六ノ九四九、六ノ九五〇、六ノ九五一、六ノ九五二、六ノ九五三、六ノ九五四、六ノ九五五、六ノ九五六、六ノ九五七、六ノ九五八、六ノ九五九、六ノ九六〇、六ノ九六一、六ノ九六二、六ノ九六三、六ノ九六四、六ノ九六五、六ノ九六六、六ノ九六七、六ノ九六八、六ノ九六九、六ノ九七〇、六ノ九七一、六ノ九七二、六ノ九七三、六ノ九七四、六ノ九七五、六ノ九七六、六ノ九七七、六ノ九七八、六ノ九七九、六ノ九八〇、六ノ九八一、六ノ九八二、六ノ九八三、六ノ九八四、六ノ九八五、六ノ九八六、六ノ九八七、六ノ九八八、六ノ九八九、六ノ九九〇、六ノ九九一、六ノ九九二、六ノ九九三、六ノ九九四、六ノ九九五、六ノ九九六、六ノ九九七、六ノ九九八、六ノ九九九、六ノ一〇〇〇、六ノ一〇〇一、六ノ一〇〇二、六ノ一〇〇三、六ノ一〇〇四、六ノ一〇〇五、六ノ一〇〇六、六ノ一〇〇七、六ノ一〇〇八、六ノ一〇〇九、六ノ一〇一〇、六ノ一〇一一、六ノ一〇一二、六ノ一〇一三、六ノ一〇一四、六ノ一〇一五、六ノ一〇一六、六ノ一〇一七、六ノ一〇一八、六ノ一〇一九、六ノ一〇二〇、六ノ一〇二一、六ノ一〇二二、六ノ一〇二三、六ノ一〇二四、六ノ一〇二五、六ノ一〇二六、六ノ一〇二七、六ノ一〇二八、六ノ一〇二九、六ノ一〇三〇、六ノ一〇三一、六ノ一〇三二、六ノ一〇三三、六ノ一〇三四、六ノ一〇三五、六ノ一〇三六、六ノ一〇三七、六ノ一〇三八、六ノ一〇三九、六ノ一〇四〇、六ノ一〇四一、六ノ一〇四二、六ノ一〇四三、六ノ一〇四四、六ノ一〇四五、六ノ一〇四六、六ノ一〇四七、六ノ一〇四八、六ノ一〇四九、六ノ一〇五〇、六ノ一〇五一、六ノ一〇五二、六ノ一〇五三、六ノ一〇五四、六ノ一〇五五、六ノ一〇五六、六ノ一〇五七、六ノ一〇五八、六ノ一〇五九、六ノ一〇六〇、六ノ一〇六一、六ノ一〇六二、六ノ一〇六三、六ノ一〇六四、六ノ一〇六五、六ノ一〇六六、六ノ一〇六七、六ノ一〇六八、六ノ一〇六九、六ノ一〇七〇、六ノ一〇七一、六ノ一〇七二、六ノ一〇七三、六ノ一〇七四、六ノ一〇七五、六ノ一〇七六、六ノ一〇七七、六ノ一〇七八、六ノ一〇七九、六ノ一〇八〇、六ノ一〇八一、六ノ一〇八二、六ノ一〇八三、六ノ一〇八四、六ノ一〇八五、六ノ一〇八六、六ノ一〇八七、六ノ一〇八八、六ノ一〇八九、六ノ一〇九〇、六ノ一〇九一、六ノ一〇九二、六ノ一〇九三、六ノ一〇九四、六ノ一〇九五、六ノ一〇九六、六ノ一〇九七、六ノ一〇九八、六ノ一〇九九、六ノ一一〇〇、六ノ一一〇一、六ノ一一〇二、六ノ一一〇三、六ノ一一〇四、六ノ一一〇五、六ノ一一〇六、六ノ一一〇七、六ノ一一〇八、六ノ一一〇九、六ノ一一一〇、六ノ一一一一、六ノ一一一二、六ノ一一一三、六ノ一一一四、六ノ一一一五、六ノ一一一六、六ノ一一一七、六ノ一一一八、六ノ一一一九、六ノ一一二〇、六ノ一一二一、六ノ一一二二、六ノ一一二三、六ノ一一二四、六ノ一一二五、六ノ一一二六、六ノ一一二七、六ノ一一二八、六ノ一一二九、六ノ一一三〇、六ノ一一三一、六ノ一一三二、六ノ一一三三、六ノ一一三四、六ノ一一三五、六ノ一一三六、六ノ一一三七、六ノ一一三八、六ノ一一三九、六ノ一一四〇、六ノ一一四一、六ノ一一四二、六ノ一一四三、六ノ一一四四、六ノ一一四五、六ノ一一四六、六ノ一一四七、六ノ一一四八、六ノ一一四九、六ノ一一五〇、六ノ一一五一、六ノ一一五二、六ノ一一五三、六ノ一一五四、六ノ一一五五、六ノ一一五六、六ノ一一五七、六ノ一一五八、六ノ一一五九、六ノ一一六〇、六ノ一一六一、六ノ一一六二、六ノ一一六三、六ノ一一六四、六ノ一一六五、六ノ一一六六、六ノ一一六七、六ノ一一六八、六ノ一一六九、六ノ一一七〇、六ノ一一七一、六ノ一一七二、六ノ一一七三、六ノ一一七四、六ノ一一七五、六ノ一一七六、六ノ一一七七、六ノ一一七八、六ノ一一七九、六ノ一一八〇、六ノ一一八一、六ノ一一八二、六ノ一一八三、六ノ一一八四、六ノ一一八五、六ノ一一八六、六ノ一一八七、六ノ一一八八、六ノ一一八九、六ノ一一九〇、六ノ一一九一、六ノ一一九二、六ノ一一九三、六ノ一一九四、六ノ一一九五、六ノ一一九六、六ノ一一九七、六ノ一一九八、六ノ一一九九、六ノ一二〇〇、六ノ一二〇一、六ノ一二〇二、六ノ一二〇三、六ノ一二〇四、六ノ一二〇五、六ノ一二〇六、六ノ一二〇七、六ノ一二〇八、六ノ一二〇九、六ノ一二一〇、六ノ一二一一、六ノ一二一二、六ノ一二一三、六ノ一二一四、六ノ一二一五、六ノ一二一六、六ノ一二一七、六ノ一二一八、六ノ一二一九、六ノ一二二〇、六ノ一二二一、六ノ一二二二、六ノ一二二三、六ノ一二二四、六ノ一二二五、六ノ一二二六、六ノ一二二七、六ノ一二二八、六ノ一二二九、六ノ一二三〇、六ノ一二三一、六ノ一二三二、六ノ一二三三、六ノ一二三四、六ノ一二三五、六ノ一二三六、六ノ一二三七、六ノ一二三八、六ノ一二三九、六ノ一二四〇、六ノ一二四一、六ノ一二四二、六ノ一二四三、六ノ一二四四、六ノ一二四五、六ノ一二四六、六ノ一二四七、六ノ一二四八、六ノ一二四九、六ノ一二五〇、六ノ一二五一、六ノ一二五二、六ノ一二五三、六ノ一二五四、六ノ一二五五、六ノ一二五六、六ノ一二五七、六ノ一二五八、六ノ一二五九、六ノ一二六〇、六ノ一二六一、六ノ一二六二、六ノ一二六三、六ノ一二六四、六ノ一二六五、六ノ一二六六、六ノ一二六七、六ノ一二六八、六ノ一二六九、六ノ一二七〇、六ノ一二七一、六ノ一二七二、六ノ一二七三、六ノ一二七四、六ノ一二七五、六ノ一二七六、六ノ一二七七、六ノ一二七八、六ノ一二七九、六ノ一二八〇、六ノ一二八一、六ノ一二八二、六ノ一二八三、六ノ一二八四、六ノ一二八五、六ノ一二八六、六ノ一二八七、六ノ一二八八、六ノ一二八九、六ノ一二九〇、六ノ一二九一、六ノ一二九二、六ノ一二九三、六ノ一二九四、六ノ一二九五、六ノ一二九六、六ノ一二九七、六ノ一二九八、六ノ一二九九、六ノ一三〇〇、六ノ一三〇一、六ノ一三〇二、六ノ一三〇三、六ノ一三〇四、六ノ一三〇五、六ノ一三〇六、六ノ一三〇七、六ノ一三〇八、六ノ一三〇九、六ノ一三一〇、六ノ一三一一、六ノ一三一二、六ノ一三一三、六ノ一三一四、六ノ一三一五、六ノ一三一六、六ノ一三一七、六ノ一三一八、六ノ一三一九、六ノ一三二〇、六ノ一三二一、六ノ一三二二、六ノ一三二三、六ノ一三二四、六ノ一三二五、六ノ一三二六、六ノ一三二七、六ノ一三二八、六ノ一三二九、六ノ一三三〇、六ノ一三三一、六ノ一三三二、六ノ一三三三、六ノ一三三四、六ノ一三三五、六ノ一三三六、六ノ一三三七、六ノ一三三八、六ノ一三三九、六ノ一三四〇、六ノ一三四一、六ノ一三四二、六ノ一三四三、六ノ一三四四、六ノ一三四五、六ノ一三四六、六ノ一三四七、六ノ一三四八、六ノ一三四九、六ノ一三五〇、六ノ一三五一、六ノ一三五二、六ノ一三五三、六ノ一三五四、六ノ一三五五、六ノ一三五六、六ノ一三五七、六ノ一三五八、六ノ一三五九、六ノ一三六〇、六ノ一三六一、六ノ一三六二、六ノ一三六三、六ノ一三六四、六ノ一三六五、六ノ一三六六、六ノ一三六七、六ノ一三六八、六ノ一三六九、六ノ一三七〇、六ノ一三七一、六ノ一三七二、六ノ一三七三、六ノ一三七四、六ノ一三七五、六ノ一三七六、六ノ一三七七、六ノ一三七八、六ノ一三七九、六ノ一三八〇、六ノ一三八一、六ノ一三八二、六ノ一三八三、六ノ一三八四、六ノ一三八五、六ノ一三八六、六ノ一三八七、六ノ一三八八、六ノ一三八九、六ノ一三九〇、六ノ一三九一、六ノ一三九二、六ノ一三九三、六ノ一三九四、六ノ一三九五、六ノ一三九六、六ノ一三九七、六ノ一三九八、六ノ一三九九、六ノ一四〇〇、六ノ一四〇一、六ノ一四〇二、六ノ一四〇三、六ノ一四〇四、六ノ一四〇五、六ノ一四〇六、六ノ一四〇七、六ノ一四〇八、六ノ一四〇九、六ノ一四一〇、六ノ一四一一、六ノ一四一二、六ノ一四一三、六ノ一四一四、六ノ一四一五、六ノ一四一六、六ノ一四一七、六ノ一四一八、六ノ一四一九、六ノ一四二〇、六ノ一四二一、六ノ一四二二、六ノ一四二三、六ノ一四二四、六ノ一四二五、六ノ一四二六、六ノ一四二七、六ノ一四二八、六ノ一四二九、六ノ一四三〇、六ノ一四三一、六ノ一四三二、六ノ一四三三、六ノ一四三四、六ノ一四三五、六ノ一四三六、六ノ一四三七、六ノ一四三八、六ノ一四三九、六ノ一四四〇、六ノ一四四一、六ノ一四四二、六ノ一四四三、六ノ一四四四、六ノ一四四五、六ノ一四四六、六ノ一四四七、六ノ一四四八、六ノ一四四九、六ノ一四五〇、六ノ一四五一、六ノ一四五二、六ノ一四五三、六ノ一四五四、六ノ一四五五、六ノ一四五六、六ノ一四五七、六ノ一四五八、六ノ一四五九、六ノ一四六〇、六ノ一四六一、六ノ一四六二、六ノ一四六三、六ノ一四六四、六ノ一四六五、六ノ一四六六、六ノ一四六七、六ノ一四六八、六ノ一四六九、六ノ一四七〇、六ノ一四七一、六ノ一四七二、六ノ一四七三、六ノ一四七四、六ノ一四七五、六ノ一四七六、六ノ一四七七、六ノ一四七八、六ノ一四七九、六ノ一四八〇、六ノ一四八一、六ノ一四八二、六ノ一四八三、六ノ一四八四、六ノ一四八五、六ノ一四八六、六ノ一四八七、六ノ一四八八、六ノ一四八九、六ノ一四九〇、六ノ一四九一、六ノ一四九二、六ノ一四九三、六ノ一四九四、六ノ一四九五、六ノ一四九六、六ノ一四九七、六ノ一四九八、六ノ一四九九、六ノ一五〇〇、六ノ一五〇一、六ノ一五〇二、六ノ一五〇三、六ノ一五〇四、六ノ一五〇五、六ノ一五〇六、六ノ一五〇七、六ノ一五〇八、六ノ一五〇九、六ノ一五一〇、六ノ一五一一、六ノ一五一二、六ノ一五一三、六ノ一五一四、六ノ一五一五、六ノ一五一六、六ノ一五一七、六ノ一五一八、六ノ一五一九、六ノ一五二〇、六ノ一五二一、六ノ一五二二、六ノ一五二三、六ノ一五二四、六ノ一五二五、六ノ一五二六、六ノ一五二七、六ノ一五二八、六ノ一五二九、六ノ一五三〇、六ノ一五三一、六ノ一五三二、六ノ一五三三、六ノ一五三四、六ノ一五三五、六ノ一五三六、六ノ一五三七、六ノ一五三八、六ノ一五三九、六ノ一五四〇、六ノ一五四一、六ノ一五四二、六ノ一五四三、六ノ一五四四、六ノ一五四五、六ノ一五四六、六ノ一五四七、六ノ一五四八、六ノ一五四九、六ノ一五五〇、六ノ一五五一、六ノ一五五二、六ノ一五五三、六ノ一五五四、六ノ一五五五、六ノ一五五六、六ノ一五五七、六ノ一五五八、六ノ一五五九、六ノ一五六〇、六ノ一五六一、六ノ一五六二、六ノ一五六三、六ノ一五六四、六ノ一五六五、六ノ一五六六、六ノ一五六七、六ノ一五六八、六ノ一五六九、六ノ一五七〇、六ノ一五七一、六ノ一五七二、六ノ一五七三、六ノ一五七四、六ノ一五七五、六ノ一五七六、六ノ一五七七、六ノ一五七八、六ノ一五七九、六ノ一五八〇、六ノ一五八一、六ノ一五八二、六ノ一五八三、六ノ一五八四、六ノ一五八五、六ノ一五八六、六ノ一五八七、六ノ一五八八、六ノ一五八九、六ノ一五九〇、六ノ一五九一、六ノ一五九二、六ノ一五九三、六ノ一五九四、六ノ一五九五、六ノ一五九六、六ノ一五九七、六ノ一五九八、六ノ一五九九、六ノ一六〇〇、六ノ一六〇一、六ノ一六〇二、六ノ一六〇三、六ノ一六〇四、六ノ一六〇五、六ノ一六〇六、六ノ一六〇七、六ノ一六〇八、六ノ一六〇九、六ノ一六一〇、六ノ一六一一、六ノ一六一二、六ノ一六一三、六ノ一六一四、六ノ一六一五、六ノ一六一六、六ノ一六一七、六ノ一六一八、六ノ一六一九、六ノ一六二〇、六ノ一六二一、六ノ一六二二、六ノ一六二三、六ノ一六二四、六ノ一六二五、六ノ一六二六、六ノ一六二七、六ノ一六二八、六ノ一六二九、六ノ一六三〇、六ノ一六三一、六ノ一六三二、六ノ一六三三、六ノ一六三四、六ノ一六三五、六ノ一六三六、六ノ一六三七、六ノ一六三八、六ノ一六三九、六ノ一六四〇、六ノ一六四一、六ノ一六四二、六ノ一六四三、六ノ一六四四、六ノ一六四五、六ノ一六四六、六ノ一六四七、六ノ一六四八、六ノ一六四九、六ノ一六五〇、六ノ一六五一、六ノ一六五二、六ノ一六五三、六ノ一六五四、六ノ一六五五、六ノ一六五六、六ノ一六五七、六ノ一六五八、六ノ一六五九、六ノ一六六〇、六ノ一六六一、六ノ一六六二、六ノ一六六三、六ノ一六六四、六ノ一六六五、六ノ一六六六、六ノ一六六七、六ノ一六六八、六ノ一六六九、六ノ一六七〇、六ノ一六七一、六ノ一六七二、六ノ一六七三、六ノ一六七四、六ノ一六七五、六ノ一六七六、六ノ一六七七、六ノ一六七八、六ノ一六七九、六ノ一六八〇、六ノ一六八一、六ノ一六八二、六ノ一六八三、六ノ一六八四、六ノ一六八五、六ノ一六八六、六ノ一六八七、六ノ一六八八、六ノ一六八九、六ノ一六九〇、六ノ一六九一、六ノ一六九二、六ノ一六九三、六ノ一六九四、六ノ一六九五、六ノ一六九六、六ノ一六九七、六ノ一六九八、六ノ一六九九、六ノ一七〇〇、六ノ一七〇一、六ノ一七〇二、六ノ一七〇三、六ノ一七〇四、六ノ一七〇五、六ノ一七〇六、六ノ一七〇七、六ノ一七〇八、六ノ一七〇九、六ノ一七一〇、六ノ一七一一、六ノ一七一二、六ノ一七一三、六ノ一七一四、六ノ一七一五、六ノ一七一六、六ノ一七一七、六ノ一七一八、六ノ一七一九、六ノ一七二〇、六ノ一七二一、六ノ一七二二、六ノ一七二三、六ノ一七二四、六ノ一七二五、六ノ一七二六、六ノ一七二七、六ノ一七二八、六ノ一七二九、六ノ一七三〇、六ノ一七三一、六ノ一七三二、六ノ一七三三、六ノ一七三四、六ノ一七三五、六ノ一七三六、六ノ一七三七、六ノ一七三八、六ノ一七三九、六ノ一七四〇、六ノ一七四一、六ノ一七四二、六ノ一七四三、六ノ一七四四、六ノ一七四五、六ノ一七四六、六ノ一七四七、六ノ一七四八、六ノ一七四九、六ノ一七五〇、六ノ一七五一、六ノ一七五二、六ノ一七五三、六ノ一七五四、六ノ一七五五、六ノ一七五六、六ノ一七五七、六ノ一七五八、六ノ一七五九、六ノ一七六〇、六ノ一七六一、六ノ一七六二、六ノ一七六三、六ノ一七六四、六ノ一七六五、六ノ一七六六、六ノ一七六七、六ノ一七六八、六ノ一七六九、六ノ一七七〇、六ノ一七七一、六ノ一七七二、六ノ一七七三、六ノ一七七四、六ノ一七七五、六ノ一七七六、六ノ一七七七、六ノ一七七八、六ノ一七七九、六ノ一七八〇、六ノ一七八一、六ノ一七八二、六ノ一七八三、六ノ一七八四、六ノ一七八五、六ノ一七八六、六ノ一七八七、六ノ一七八八、六ノ一七八九、六ノ一七九〇、六ノ一七九一、六ノ一七九二、六ノ一七九三、六ノ一七九四、六ノ一七九五、六ノ一七九六、六ノ一七九七、六ノ一七九八、六ノ一七九九、六ノ一八〇〇、六ノ一八〇一、六ノ一八〇二、六ノ一八〇三、六ノ一八〇四、六ノ一八〇五、六ノ一八〇六、六ノ一八〇七、六ノ一八〇八、六ノ一八〇九、六ノ一八一〇、六ノ一八一一、六ノ一八一二、六ノ一八一三、六ノ一八一四、六ノ一八一五、六ノ一八一六、六ノ一八一七、六ノ一八一八、六ノ一八一九、六ノ一八二〇、六ノ一八二一、六ノ一八二二、六ノ一八二三、六ノ一八二四、六ノ一八二五、六ノ一八二六、六ノ一八二七、六ノ一八二八、六ノ一八二九、六ノ一八三〇、六ノ一八三一、六ノ一八三二、六ノ一八三三、六ノ一八三四、六

以上東京郵便局所轄　　横濱市山下町十八番　フヒビーレベア孃
不明　大阪郵便局所轄　　大阪難波河原相撲場北ヘ入ル炭商　藤田
─　長島　横濱市山下町アントニー方　長島トク子
中村町　以上横濱郵便局所轄　新井かち　千葉町登戸清濱館ニテ　大野濱吉
神戸市多聞通二丁目　神戸郵便局所轄　木本　日本郵船會社乘組員機械部　坂野
藤野店　札幌郵便局所轄　吉川商店
熊本本庄中通　熊本郵便局所轄　樋口竹　軍艦須磨　樋口七五三吉
高松市　高松郵便局所轄　富家ゑみ　横須賀市稻岡町　在塚可祢子

其他發受人不明ノ物件
銀指環一箇、釘二箱、珊瑚製根掛一掛、分銅一箇、自轉車附屬品二箇、黒水牛印材一箇、鐵金物一箇、鰹節一本、時計鎖半筋、扇子一本、「ノートブック」一冊、黄楊印材一箇、金物二箇、五厘切手二枚、黄楊印章一箇、小形寫眞九枚、參錢切手一枚、麻見本一把、「ゴムコロップ」一箱、柴檀印章一箇、活字六箇、黒水牛印章一箇、蝶番一箇、龍角散一箱、棕櫚帚一本、鰹節一本、神宮敬神社會員「メタル」一箇、象牙印章一箇、煙精米一袋、金物二箇、五十錢銀貨一箇、參錢切手一枚、葉書一枚、五十錢銀貨一箇、鰹節一本、煙管一本、耳搔一包、給具六箇、耕地整理法規一冊、木製柄一箇、山葵鑑詰一箇、木製柄一箇、「カフスボタン」一組、木製柄一箇、掛物軸一箇、鐵製器具一組、家畜品評會徽章二箇、洋銀指環一箇、醤油一罐、掛物軸二箇、金引線一玉、柄附金物一箇、鹽鮭二尾、鹽鮭各々一尾、返信用葉書一枚、白味噌一樽、鹽鮭三ッ切一尾、「ブリキ」製獨樂一箇、袢袍一枚、袋三箇、女絣綿入一枚、女表附下駄一足、山桐下駄二足、鹽魚若干、味噌漬一罐、白砂糖、赤砂糖各々一袋、元結十一把、雪駄「ヅック」製鞜各々一足、海苔四帖、「フランネルヅボン」下一着、「ザラメ」砂糖、粉各々一袋、手拭二本、鼠色木綿單衣、木綿綿入各々一枚、返信用葉書一枚、銅管十把（以上東京郵便局所轄）砥石一箇、櫛一枚、木綿竪横縞男綿入著物一枚、十能、灰篩各々二箇、錢入一箇、女兒用足袋二足、鐵製前髮挾一包、惡戯小僧日記一冊、鐵具一包、白木牛印章一箇、木製印章一箇、黒水牛印章一箇、目薬空明水三瓶、文錢製指環一箇、簪一本、活動一冊、「ポンチ」画集おも白ポンチ一冊、仁丹一包、散彈一包、螺旋一箇、木製印章一箇、螺旋一箇（以上大阪郵便局所轄）、貿易扇一本、木綿縞羽織羽織紐及同掛箱一枚各々一對（以上京都郵便局所轄）、木綿布一丈、木綿絲二把、鋸鑢二本、小供足袋一足、羽織紐一掛、金製玉附教育玩具一組、海苔五帖、脱脂綿百四十一匁（以上横濱郵便局所轄）、藥品粉五包、絲縞綿入一枚、貳錢收入印紙二枚、扇（犬繪アリ）一本、咳嗽散一箇、往復葉書返信一枚（以上神戸郵便局所轄）、金鍍「カフス」釦一組、粕漬數ノ子三罐、栗二百九十匁、鰹節四本、粕漬數ノ子二罐、魚油一罐、鹽引鮭一尾、燒餅米百五十匁、撚絲白紺取混二百匁、墨五挺、紺布片一枚、往復葉書返信部一枚、人物寫眞銅版（縱二寸五分幅一寸八分位）一箇（以上札幌郵便局所轄）、百人一首歌骨牌一組、鷄卵四箇、茶碗蓋附六組、蕷九箇、錢餅七箇、風呂敷一枚、珠數一連、三八式野砲彈殼一箇、私製繪葉書十枚、男向絣綿入羽織一枚、風呂敷一枚、女向木綿藍微塵袷一枚、同筒袖襦袢一枚、袖無胴著一枚、鹽鮭四切、六百二十匁（以上名古屋郵便局所轄）、「ハンケチ」二枚、「メリヤスシャツ」一枚、菓子（松ノ花）二罐、靴下一足、猿股一枚（以上熊本郵便局所轄）、模造金銀張分簪一本（以上仙臺郵便局所轄）、五十錢銀貨一箇、「メリヤス」袴下二枚、襦一枚、銀側片硝子龍頭卷懷中時計鎖共一箇（以上廣島郵便局所轄）、吊柿百十二箇、烏賊黒作二箱（以上金澤郵便局所轄）、讃談判六箇、（以上高松郵便局所轄）、「メリヤスシャツ」一枚、手袋一組、給一枚、襦袢一枚、「ネル」切一枚（以上鹿兒島郵便局所轄）

○貯金通帳亡失及盜難等

左記貯金通帳亡失及盜難等ノ事故ニ罹リタルニ付キ若シ其所在ヲ發見シタル者ハ速ニ最寄郵便貯金取扱局所ニ届出ツヘシ

明治四十三年四月　郵便貯金局

記番號		交付局所名		預ケ入氏名	
まく	一三一三	薩摩	大口	有村（管理人）	彦助
まはを	二七九二	同	出水	班目	榮藏
第二回發行 ひいゐ	一三	元下關郵便爲替貯金管理支所		中村	マス
くい	四〇〇七三	安藝	廣島	中野	正雄
くはす	五八八	同	伴	山口	勝喜
同	一四三〇	同		小浦	チサト
そふ	二五四〇	肥前	彼杵	森山	健太郎
そにり	二四六九	同	佐々	山口	ツギ
そほぬ	一三一五	同	南有馬	村田	清八
そほす	三三四	同	北有馬	八木	吉次郎
まよた	六五五	日向	河內	鍛冶	シメ
同	六七一	同		鍛冶	一男
同	六七八	同		鍛冶	タキ
ひほ	七七八一	肥後	高瀨	飯田	ヨシエ
くゐ	四四八五	備後	東城	瀨尾	寧順
ひにと	七一	肥後	五家莊	左座	五十利
同	七二	同		篠原	五芳市
まはめ	五二七	薩摩	樋脇	宮里	純義
てはき	一七一七	豐前	門司	小西	縫太郎
なそ	四四五〇	豐後	鶴崎	鶴田	盛藏
のいく	二五八四	周防	本郷	田中	文治
のいめ	二七五八	同	平生	豐田	菊太郎
のろち	一六八〇	長門	小串	有川	甚作
のにほ	六七七	同	橋崎	黒河	富藏
そちそ	三六九四	肥前	久保田	前田	ヤエ
てはを	一二九七一	豐前	北方	奥間	邑厚
てにさ	一四六二	筑前	山野	小島	ミヨシ
てほれ	三〇七四	豐前	門司日出町	青柳	佐彌植
ては	六四八五	筑後	柳河	金子	キクノ
てき	二三二一	筑前	直方	有馬	達
のく	五八九二	周防	久賀	伊村	榮助
ふいぬ	三六九四	出雲	赤名	澤田	重吉
ふいあ	一二九九	同	佐白	恩田	元四郎
ふはわ	一三五九	同	比田	重柄	ヨシノ
そら	五七一〇	肥前	鹿島	一ノ瀨	ヨフミ
そろお	一〇七三	同	古湯	増田	庄次郎
同	一〇七四	同		増田	エイ
そちそ	三二〇七	薩摩	久保田	山本	榮次
まい	二三六八四	同	鹿兒島	中村	イマ
てにお	四二二	筑前	新北	岡松	イソノ
ふいぬ	三〇一九	出雲	赤名	大村	正夫
ふほゐ	三三〇三	石見	吾郷	光宗	政夫
ろぬ	九三九七	武藏	芝濱松町	松村	伊三吉
にき	二八四二	同	日本橋堀江町	奥村	清太郎
にゐ	七七八八	同	本所小泉町	棒	廣二
りれ	五三九〇	同	青梅	若林	峯吉
いほ祢	一九四四	同	京橋通	小西	定吉
いほせ	一三三三	同	本所押上町	新井	惣吉
同	八九六	同		池上	英吾
いほ祢	一六三〇	同	京橋通	島田	讓治
同	一六七六	同		島田	ツル
同	一二七八	同		田中	菊治郎
同	一二〇三	同		田中	金治郎
いほせ	九二六	同	本所押上町	池上	憲三
いにほ	二七九三	同	赤坂中ノ町	渡邊	兼吉
いはゐ	四九六一	同	世田谷	渡邊	茂太郎
いはと	一六七四	同	麴町元園町	澁谷	丈太郎
いはろ	一三六九	同	本所二ノ橋通	中村	藤吉
いはけ	五一四	同	日本橋濱町三	廣瀨	さだ
いはゐ	三九二七	同	世田谷	渡邊	峯次郎
いろよ	三一二三	同	牛込馬場下町	岩切	キチ
いいや	三二〇八	同	深川西町	長瀨	ハナ
いろひ	二五一四	同	王子	木村	藤次郎
いはく	四一八	伊豆	三島	井口	タノ
いろむ	一六〇六	武藏	羽村	大野	耕作
いはゐ	四五一四	同	世田谷	渡邊	太郎兵エ
むゐ	二七二九	信濃	福島	吉田	つや
恩む	一六五一五	元郵便爲替貯金管理所		西村	吉造
むに	一〇九三	信濃	飯田	矢澤	總美
むほと	七四三	同	長窪古町	清水	くに
わいゐ	九六	三河	福岡	清水	重次郎
わちは	二八二九	同	足助	宇井	治六
わはは	二一一一	同	小坂井	羽田野	だい
わいゐ	三一三〇	同	福岡	金澤	ハナ
わにを	一〇九四	尾張	坂下	杉浦	よね
めにを	一〇九八	駿河	上土新田	青木	たか
めはに	一五〇七	遠江	天神町	鈴木	榮太郎
ゐあす	五七	越後	越前濱	若月	ヨキ
ゐろむ	一一一〇	同	川口	今井	理吉
あち	一四四七〇	武藏	大宮	鈴木	ゑむ
恩み	一二八六八	元郵便爲替貯金管理所		後藤	仲吉
ゐつ	一三八五	下野	石橋	田崎	春雄
ゐゆ	三一七一	同	福居	金子	ハマ
みにゐ	一七四一	羽後	飛島	阿部	つるせ
みろみ	三一六	羽前	貫見	佐藤	英雄
おわ	四六三七ノ二	元郵便貯金局		飯島	イシ
たはゐ	二三九一	磐城	濱江	金山	伊三郎
たれ	五〇二七	岩代	郡山	高橋	熊太郎
たはに	五三五	磐城	柳橋	降矢	まさの
たにと	三四	同	二枚橋	佐藤	甚太郎
恩た	一六〇〇〇	元郵便爲替貯金管理所		鈴木	長治郎
たれ	五〇一五	岩代	郡山	細川	ヨシ
やいろ	二五六七	紀伊	長島	平野	正平
きち	三九九二	上野	館林	寺田	松藏
きも	八三七	同	布施	細矢	角次郎
同	九一八	同		本多	周吉
同	九八一	同		原澤	廣延
きり	五六八三	同	伊勢崎	瀨下	はつの
きろい	二五二	同	箕輪	岡田	三三
ゆいち	一四三五	甲斐	初狩	小林	傳
きに	三二四〇	上野	富岡	牛込	やす
れい	一七九〇二	常陸	水戸	塚本	縫之介
しあ	五一一六	磐城	白石	保科	藤平
をな	三〇〇二ノ二	元郵便爲替貯金管理所		宇野澤	銀之助
をいり	二一九九	下總	檢見川	藤代	織部
りろふ	三七一	相模	鳥屋	天野	藤三
らゐた	八五二	石狩	琴似	細田澤	市松
らとけ	一五六八	渡島	函館榮町	田中	忠治
らろゐ	六三七四	石狩	旭川	岡田	矢平
けらか	三八三四	羽後	大曲	加藤	健治

記番號		交付局所名		預ケ入氏名	
ちゑ札	二一四	後志	珊內	木村	タカ
はに	三八六七	武藏	下谷北大門町	藤本	善吉郎
むぬ	四〇〇八	信濃	岩村田	森泉	正亞
あす	二二五八	武藏	川口	田中	駒吉
たにほ	二二三八	磐城	荷路夫	佐藤	福義
いほみ	一二九二	武藏	淺草瓦町	犬塚	國三郎
ゆを	二三二六	甲斐	市川大門	岸本	ぬひの
たす	三一二九	岩代	坂下	小瀧	喜代次
いいや	一七七一六	武藏	王子	木村	仲一
いはけ	一五五	同	日本橋濱町	川上	宥吉
ゐろゑ	五六	下野	三依	高橋	次郎
やはよ	一七三〇	伊勢	富田一色	水谷	千代
そにた	二二五三	對馬	佐賀	平田	千磯
同	二八〇	同		島居	彌市
くはみ	一二五七ノ二	元下關郵便爲替貯金管理支所		近藤	圧右衛門
まにて	七五〇	大隅	山ヶ野	上園	猪之助
てほゑ	五五一	筑前	水茶屋	河手	賢一郎
のろも	六四三	長門	德佐	木村	ヨネ
ふはせ	五〇八	石見	青原	大庭	藤右衛門
ふほり	八三三	出雲	馬木	古田	川太三郎
ふほて	一一	石見	濱田朝日町	吉原	屬八
そな	三三九七	肥前	牛津	南里	愛吉
そろほ	三五六四	同	別府	平山	貞次郎
のろせ	一三九二	周防	高瀨	有井	德二
てほた	四七〇七	豐前	門司內本町	正田	正治
第二回發行 ひろら	一一五一	元下關郵便爲替貯金管理支所		上野	政八
くに	二三二〇	備後	鞆	延谷	梅太郎
くいき	二六九八	安藝	河內	木戸	イキノ
清ろ	五六八三	淸國	天津	有岡	令治
くろち	三〇四ノ二	元下關郵便爲替貯金管理支所		久保	ノブ
まいと	一六〇五	大隅	大根占	長濱	正吉
まはを	一八五八	薩摩	東鹽屋	松下	吉次郎
まほは	六一七	同	出水	月崎	正一
ひり	五三九九	同	鹿兒島築町	藤崎	廣誠
そいも	四五八八	肥後	宇土	平居	オワリ
清ほ	一六二九ノ二	元下關郵便爲替貯金管理支所		平田	周助
まり	三〇〇一	滿洲	旅順	本田	松之助
まにむ	三三八〇	大隅	加治木	榎田	ハヤ
同	五一六三	薩摩	鹿兒島堅馬場	塩浦	シゲ
ひはゐ	五五三一	同		兒玉	エキ
恩な	四一四五	肥後	南關	花見	房吉
ふり	一二四八二	元郵便爲替貯金管理所		須藤	英貞
くさ	五三六〇	石見	大森	西村	藤三郎
なろわ	一七〇八	安藝	音戸	草本	榮作
のち	一七五〇	豐後	田中	吉眞	ジュク
のはそ	二七三九	長門	深川	中野	ウメコ
そちわ	一一四二	同	居能	西村	恕介
[illegible]	一二五二	肥前	早津江	高橋	佐代次

○證券保管通帳亡失

左記證券保管通帳亡失ニ付キ自今無效トス但シ其所在ヲ發見シタルトキハ速ニ郵便貯金局ニ通報スヘシ

明治四十三年四月　郵便貯金局

記番號		預ケ入氏名
恩な	一八二四六	工藤　順一

○不能還付郵便物

去月中元大阪郵便局監督區內（大阪府及奈良、和歌山二縣）ニ於テ還付シ能ハサル沒書郵便物左ノ通ニ付キ心當ノ者ハ六箇月以內ニ當局總務部又ハ差出地ノ郵便局ニ申出テラルヘシ

明治四十三年四月　大阪遞信管理局

普通通常郵便物
第一種　八七一通
第二種　一、六五八
第三種　三一
第四種　七
普通小包郵便物　六個

去月中當局區內各局所引受ニ係ル郵便物ニシテ差出人ニ還付シ能ハサルモノ左ノ通ニ付キ心當ノ者ハ申出テラルヘシ

明治四十三年四月　關東都督府通信管理局

一有價物無封入
第一種　一七〇通　第二種　三九通　第三種　二通

○案內業者業務禁止及停止

業務禁止　東京市京橋區山下町十六番地東京府平民案內業者　石飾　國太郎
六箇月間業務停止　東京府豐多摩郡澁谷町大字下澁谷八百八十八番地富田穩方案內業者　木村　毅

右ノ者ニ對シ案內業者取締規則第十五條ニ依リ本月二十五日各頭書ノ通命令セリ

明治四十三年四月　警視廳

○營業禁止及解除

東京府西多摩郡青梅町青梅百六十六番地東京府平民古物商　岡本　一江

右古物商取締法第十四條ニ依リ本月二十三日其營業ヲ禁止セリ

明治四十三年四月　警視廳

泉南郡沼野村大字沼二百十四番屋敷平民　原田　音吉

右本月二十一日古物商營業ノ禁止ヲ解ケリ

明治四十三年四月　大阪府

○土地編入

大阪灣築港埋立地ヲ大阪市西區ニ編入シ其土地及附近土地ノ名稱ヲ左ノ通定メタリ

明治四十三年四月　大阪府

西區ニ編入シタル築港埋立地ノ町名

町名	面積（坪）
出崎町一丁目	二、九四二・〇八
同　二丁目	三、四一一・九〇

町名改稱

舊名	新名	面積（坪）
天保山舊砲臺敷地（一部）	一條通一丁目	一五・四四
	二條通二丁目	一、六七五・七五
	同　三丁目	三、四一〇・一〇
出崎町	三條通三丁目	二八一・〇六
	出崎町三丁目	全部

○村役場位置變更

北河內郡山田村役場位置ヲ今般大字甲斐田九百四十二番地ニ變更セリ

明治四十三年四月　大阪府

○免狀亡失

第一七九號　乙種三等狩獵免狀　南高來郡口ノ津村甲千百六十一番地　最上　鹿猪

右遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十三年四月　長崎縣

第四五號　乙種三等狩獵免狀　周智郡城西村相月二八四五番地　山本　覺太郎
第六五號　同上　同郡奥山村山住三一番地　柳瀨　吉平

右孰モ遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十三年四月　靜岡縣

福第二六八四號　乙種三等狩獵免狀　石城郡湯本村大字湯本字三函二百二十二番地　金子　常吉
福第三二〇三號　同上　北會津郡大戸村大字上小塩千四百九十二番地　大關　一已

右孰モ遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十三年四月　福島縣

第四二二號　乙種三等狩獵免狀　仙北郡荒川村境六十番地平民　鈴木　森之助

右遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十三年四月　秋田縣

第二四〇號　乙種三等狩獵免狀　西伯郡米子町大字糀町一丁目　森　松次郎

右遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十三年四月　鳥取縣

銃第九一號　乙種三等狩獵免狀　美濃郡中西村大字市原　曾野　孫市

右遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十三年四月　島根縣

第8050号　本文

第三六號　乙種二等狩猟免狀
右紛失ノ旨届出アタリ

明治四十三年四月

○文官普通試驗

本年七月十五日ヨリ富山縣廳構内ニ於テ文官普通試驗ヲ施行ス　志願者ハ左記試驗科目及答式ヲ了知シ願書ニ市町村長ノ證明書（明治二十六年勅令第百九十七號文官試驗規則第四條各號ノ一ニ該當セサル旨證明シタルモノヲ添ヘ履歴書ヲ添ヘ（同月五日マテニ當縣ニ到達スル様差出スヘシ　但シ受驗者ハ試驗ノ前日當縣ニ出頭シ試驗ニ關スル事項ヲ問合セ試驗當日ニハ羽織袴又ハ洋服ヲ着用シ筆墨硯筆ヲ携帶スヘシ

明治四十三年四月

試驗科目

一法　令　行政法、民法（總則）、刑法
一國語及漢文　漢文（訓點、釋義）、作文（漢字交リ文、往復文）
一算　術　筆算（四則、分數、比例）、珠算（加減乘除）
一地理及歷史　本邦地理及本邦歷史
書式　試驗願（用紙半紙）

本　籍　何府縣郡市町村何番地
現住所　何府縣郡市町村何番地
（何某方）
華士族平民　氏　名
年月日生

○購買入札

第一號　藁　五万貫（五万五百貫ノ處）　嚴手縣嚴手郡瀧澤村種馬育成所納
第二號　藁　以上入札保證金每號各自見積價格百分ノ五以上

右購買入札ニ參加セント欲スル者ハ入札書ヲ同所ニ差出スヘシ　即時開札ス
此契約ハ種馬育成所長甘露寺照長代理

明治四十三年四月二十六日　馬政局

外注第五百四十七號　弧橋類　二點　横檜納
右購買入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（國未滿切上ク）
入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル
入札書ヲ同所ニ差出スヘシ　即時開札ス
此契約ハ種馬育成所長甘露寺照長代理

明治四十三年四月二十六日　馬政局

第一號　藁　千三百九十一本　一旋　盤
第二號　藁　二千疋　一水面計硝子板　千五百箇
一滑形鋼　二十箇　一絲　屑　二万疋
一布入鐙鐵板　五百疋　一綾木綿　二万米
一弧狀燈　二十箇　一白　綿　五万六千五百米
一鋼ボールトナット　十五箇　一平頭眞鍮木螺　一万七千疋
一鐵絞繩　一万五千疋
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上入札者ハ二年以來繼續シ且ツ現實其營業ニ從事スル證明書ヲ有スル者ニ限ル
入札保證金ヲ添ヘ（同證ニ入札書差出スヘシ　同時當部ニ於テ開札ス
此契約ハ吳海軍工廠會計部長湯澤眞太郎擔任ス

明治四十三年四月二十六日　吳海軍工廠會計部

一内部用礦油　一生米綿一万箇　同　同六月十五日
一白金薄燧皿外二十五廉　納期本年六月三十日　洋蠟十五万箇　同　同月三十一日
一「ニューマックフール」ドリル七十箇　同　同八月三十一日　撓四百三十八箇　同　同月十日
以上各入札保證金各自見積代價百分ノ五以上
入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル
右購買入札ニ參加セント欲スル者ハ當部計算課ニ就キ入札心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル五月十日午後二時限入札スヘシ
營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ（同課ニ入札書差出スヘシ　同時ニ於テ開札ス
此契約ハ吳海軍工廠會計部長五藤兵司擔任ス

明治四十三年四月二十六日　吳海軍工廠會計部

○入札拂下

一鹹力窒素外一點　入札保證金買受總代金百分ノ五以上（國未滿切上ク）
右買受ヲ買受望ノ者ハ名古屋出納事務所ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル五月十一日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ　即時開札ス
此契約ハ中部鐵道管理局名古屋出納事務所長大西匡次郎擔任ス

明治四十三年四月二十六日　中部鐵道管理局

自第一號　至第十五號　山形歩兵第三十二聯隊歷史　歩兵第十五聯隊
右買受ヲ買受望ノ者ハ今ニ十六日ヨリ來ル五月十日マテ（執務時間中）ニ前記部隊ニ就キ入札心得書、契約書案及現品熟覽ノ上同十一日午前十時限前記部隊ニ入札スヘシ　但シ郵便入札ヲ許ス
此契約ハ第二師團經理部殘留主計正白石五佐久ノ委任ニ依リ歩兵第三十二聯隊營守靈長鞍掛定英擔任ス

明治四十三年四月二十六日　第二師團經理部殘留員

第一號　舊式絨衣　四百八十箇　第四號　麻脚袢　六百箇
第二號　舊式夏衣　四百六十箇　第五號　綿靴　八百七十箇
第三號　舊式夏袴　四百八十箇　以上歩兵第十五聯隊（高崎）保管
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（國未滿切上ク）

右買受ヲ買受望ノ者ハ入札前日マテ（執務時間内）ニ歩兵第十五聯隊ニ出頭入札心得書、契約書案及現品熟覽ノ上來ル五月十二日午前十時マテニ入札保證金ヲ納付シ同十時三十分限同隊ニ入札スヘシ　但シ郵便入札ヲ許ス
此契約ハ歩兵第十五聯隊經理委員官吏陸軍歩兵中佐古木秀太郎擔任ス

明治四十三年四月二十六日　歩兵第十五聯隊

一綿布及麻布　量百二十四貫匁　入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（國未滿切上ク）
右買受ヲ買受望ノ者ハ當所ニ就キ契約心得、入札手續及現品熟覽ノ上來ル五月十一日午前十時限入札スヘシ　即日開札ス
此契約ハ生絲檢査所長齋藤孝擔任ス

明治四十三年四月二十六日　生絲檢査所

昨二十五日本欄内掲載背森大林區署公告ノ續

○林野賣拂

一立木竹　第一號　千五百九十本　第二號　三十本
一杉角材　一千九百六十本
一杉角材　一千五百六十本
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル
右購買入札ニ參加セント欲スル者ハ當所ニ入札書差出スヘシ　即時開札ス
此契約ハ海軍採炭所長鈴木富三擔任ス

明治四十三年四月二十六日　海軍採炭所

一杉　板　百八十五坪　一松角材　一千五百九十本
一松　板　千七百六十坪　一杉角材　一千九百六十本
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル
右購買入札ニ參加セント欲スル者ハ當所ニ入札書差出スヘシ　即時開札ス
此契約ハ海軍採炭所長鈴木富三擔任ス

明治四十三年四月二十六日　海軍採炭所

一砂　利　二百三十坪　木厩省臨時建築部構濱支部納
入札保證金見積代價百分ノ五以上入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル
右購買入札書ヲ當部ニ差出スヘシ　即時開札ス
此契約ハ木厩省臨時建築部長工學博士妻木頼黄擔任ス

明治四十三年四月二十六日　大藏省臨時建築部

第一號　精米　八百八十石　名古屋也在各部隊納　第四號　大麥　一万八千五百　名古屋守山也在各部
第二號　同　三百八十石　守山也在部隊納　貫匁　五万二千貫匁　隊納
第三號　同　三百八十五石　岐阜也在部隊納　第五號　藁　五万二千貫匁　名古屋守山也在各部
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（國未滿四位ニ切上ク）入札者ハ二年以上引續キ當該營業ニ從事スル旨郡市區町村長ノ證明書ハ入札當日午前九時マテニ第一號、第二號、第四號及第五號ハ第三師團經理部ニ、第三號ハ歩兵第六十八聯隊ニ差出スヘシ
右購買入札ニ參加セント欲スル者ハ入札當日午前九時マテニ當部並ニ岐阜衛戍地歩兵第六十八聯隊ニ就キ入札心得書、契約書案及標本等熟覽ノ上第一號、第二號、第四號及第五號ハ來ル五月十一日午前十時限當部ニ第三號ハ同日同時限歩兵第六十八聯隊ニ入札スヘシ　即時開札ス
此契約ハ第三師團經理部長岡田裕三郎擔任ス

明治四十三年四月二十六日　第三師團經理部

一内部用礦油　千五百九十本
一滑形鋼　千三百九十一本
一布入鐙鐵板　千七百六十坪
一弧狀燈　二千疋
一「エポナイト棒」　二十箇
一鋼ボールトナット　五百疋
一鐵絞繩　二千三十疋
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上入札者ハ二年以來繼續シ且ツ現實其營業ニ從事スル證明書ヲ有スル者ニ限ル
入札保證金ヲ添ヘ（同證ニ入札書差出スヘシ　同時當部ニ於テ開札ス
此契約ハ吳海軍工廠會計部長湯澤眞太郎擔任ス

明治四十三年四月二十六日　吳海軍工廠會計部

一旋　盤　一臺　千五百箇
一水面計硝子板　千五百箇　二万疋
一絲　屑　二万疋　二万米
一綾木綿　二万米　五万六千五百米
一白　綿　五万六千五百米　一万七千疋
一平頭眞鍮木螺　一万七千疋

一万六千三百瓦　一「アロタルゴール」　三千瓦
五千瓦　百四十四万瓦
二十七万瓦　十八万瓦
四万五千瓦　四万五千瓦
一「クロール酸カリウム」　一燃料酒精　一苦味丁幾　以上納期　契約締結ノ日ヨリ五十日間
一「サリチール酸ナトリウム」
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、契約保證金請負代價百分ノ十（國未滿切上ケ圓止トス）、
入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル
右購買入札望ノ者ハ當廳構内ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル五月十日午前十時限
營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ當廳ニ入札スヘシ　同日午前十時三十分開札ス
此契約ハ舞鶴海軍病院長戸祭友造擔任ス

明治四十三年四月二十六日　舞鶴海軍病院

第一號　西貢白米　百三十石　第三號　西貢白米　二十石
第二號　精　麥　百五十石　第四號　挽割麥　三十石
以上入札保證金各自見積價格百分ノ五以上（國未滿切上ク）入札者ハ二年以上其業ニ從事シタル者ニ限ル
右購買入札ニ參加セント欲スル者ハ當廳第三課ニ就キ入札心得書、契約書案及標本等熟覽ノ上來ル五月九日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ　即日開札ス
此契約ハ秋田監獄典獄江澤精造擔任ス

明治四十三年四月二十六日　秋田監獄

第一號　西貢白米　百三十石　第三號　西貢白米　二十石
第二號　精　麥　百五十石　第四號　挽割麥　三十石
以上入札保證金各自見積價格百分ノ五以上（國未滿切上ク）入札者ハ二年以上其業ニ從事シタル者ニ限ル
右購買入札ニ參加セント欲スル者ハ當廳第三課ニ就キ入札心得書、契約書案及標本等熟覽ノ上來ル五月九日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ　即日開札ス
此契約ハ秋田監獄典獄江澤精造擔任ス

明治四十三年四月二十六日　秋田監獄

一隔軟鋼　以上新橋納　約四万二千五百瓲
以上來ル五月三日入札號行

明治四十三年四月二十六日　鐵道院倉庫課

一錫　塊　三千六十瓲　新橋納
一地金類　六點　來ル五月十一日入札執行
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（國未滿切上ク）

許可　8050　本文

第8050号　本文

○商業登記

（未完）

第8050号　本文

第8050号　本文

第8050号 本文

○債券償還抽籤

本月二十八日午前十一時ヨリ本行内ニ於テロ號債券ノ償還抽籤ヲ執行ス其償還金額ハ二万圓ナリ

明治四十三年四月二十六日

東京市麴町區錢瓶町一番地
株式會社日本興業銀行

○臺灣銀行券發行週報

臺灣銀行券發行每週平均高報告（自明治四十三年四月十日至明治四十三年四月十六日）

銀行券發行高		一二、七二七、四七五、〇〇〇
準備	銀貨及銀塊	四八八、五一八、〇〇〇
	金貨及金塊	六、三八九、五二〇、〇〇〇
	準備合計	六、八七八、〇三八、〇〇〇
保證	公債證書	二、一五〇、九二八、〇〇〇
	政府證券	一、六九八、五〇九、〇〇〇
	商業手形	二、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
	保證合計	五、八四九、四三七、〇〇〇
制限超過發行高		八四九、四三七、〇〇〇

明治四十三年四月十九日

株式會社臺灣銀行

正誤

昨二十五日官報附錄本欄公示催告ノ項中一宮本郷區裁判所ノ部目良兼吉ハ目良兼三、公示催告公告中更正ノ項中富山區裁判所ノ部四行公示催示ハ公示催告ノ孰モ誤植

○東京郵便局外國郵便締切時限

明二十七日橫濱マテ汽車便送同地ヨリ鎌倉丸ヲ以テビクトリア經由歐米ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局
通常（普通）	二十七日午前十時	二十七日午前六時半
通常（書留）	同日午前九時半	同上
聯合爲替	二十七日午前九時	同日午後四時

同日橫濱マテ汽車便送同地ヨリ「モンゴリア」號ヲ以テ布哇經由歐米ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局
通常（普通）	二十七日午前十時半	二十七日午前八時
通常（書留）	同日午前十時	同上
聯合爲替	二十七日午前九時半	同日午後四時

同日敦賀マテ汽車便送同地ヨリ「ペンザ」號ヲ以テ浦潮斯德經由西伯利、歐洲及南米（亞爾然丁、伯剌西爾、智利、巴拉圭、烏爾圭）ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局
通常（普通）	二十七日午後七時半	二十七日午後五時
通常（書留）	同日午後七時	同上
價格表記	同上	同上
小包	同上	同上
聯合爲替	同日午後四時	同日正午十二時

（備考）露國以外諸國宛各種郵便物ハ本便差立ノ指定アルモノニ限ル

○同上締切豫告

本月中外國郵便締切豫定日左ノ如シ

一タコマ經由歐米諸國宛　三十日頃締切ノ筈

一西伯利經由ノ歐洲諸國及南米（亞爾然丁、伯剌西爾、智利、巴拉圭、烏爾圭）宛ハ每週月、水、金曜日ニ上海、香港竝ニ印度地方ヘハ每週數回ノ差立アルニ依リ隨時差出ス方速達ヲ得ヘシ

○日本郵船株式會社汽船出發表

歐洲行

伊豫丸　明後二十七日正午十二時橫濱出帆本月三十日午前十一時神戶出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、ポートサイド、蘇士、馬耳塞、倫敦、アントワープ行

米國行

鎌倉丸　明二十七日午後二時橫濱出帆ビクトリア、シアトル行

濠洲行

日光丸　本月三十日正午十二時橫濱出帆五月三日午前十時神戶出帆門司、長崎、香港、マニラ、木曜島、タウンスビル、ブリスベーン、シドニー、メルボルン行

上海、香港行

筑前丸　明後二十八日午前十時橫濱出帆本月三十日午前十時神戶出帆門司、長崎、上海行

弘濟丸　五月一日午前十時橫濱出帆同三日午前十時神戶出帆門司、上海行

丹波丸　同二日午前十時橫濱出帆同六日午前十時神戶出帆門司、上海、香港行

春日丸　同五日午前十時橫濱出帆同七日午前十時神戶出帆門司、長崎、上海行

韓國、北清方面行

淡路丸　明後二十八日午前十時神戶出帆門司、大連、芝罘、大沽、牛莊行

相模丸　五月五日午前十時神戶出帆門司、長崎、芝罘、大沽、牛莊行

酒田丸　同六日正午十二時橫濱出帆四日市、神戶、門司、仁川、大連、大沽、牛莊行

竹島丸　同十二日午前十時神戶出帆門司、大連、芝罘、大沽、牛莊行

立神丸　同十五日午前十時神戶出帆門司、長崎、釜山、元山、淸津、浦潮斯德行

山東丸　同十六日午前十時神戶出帆門司、長崎、釜山、仁川、大連、大沽、牛莊行

高砂丸　同二十日正午十二時橫濱出帆四日市、神戶、門司、仁川、大連、大沽、牛莊行

臺灣行

信濃丸　神戶發正午十二時（每月三日、十八日）　門司發午後四時（四日、十九日）　基隆著（七日、二十二日）

讃岐丸　神戶發正午十二時（每月十一日、二十六日）　門司發午後四時（十二日、二十七日）　基隆著（十五日、三十日）

小笠原島行

肥後丸　五月二日午後二時橫濱出帆八丈島、靑ヶ島、父島、母島（沖、東湊）行

本州、北海道連絡線

每日（午後七時半 靑森發　翌朝七時半 室蘭著）
（午後五時 室蘭發　翌朝五時 靑森著）

○大阪商船株式會社汽船出發表

韓國行

成興丸　明二十七日午前八時大阪出帆同日正午十二時神戶出帆門司（下關）、釜山、元山、城津、淸津行

群山丸　明後二十八日午前八時大阪出帆同日午後一時神戶出帆門司（下關）、釜山、木浦、群山、仁川行

恒春丸　本月二十九日正午十二時大阪出帆翌三十日正午十二時神戶出帆宇品、門司、釜山、元山、西湖津、新浦、城津、淸津行

淸國行

溫州丸　五月六日正午十二時大阪出帆翌七日午前十時神戶出帆門司（下關）、仁川、鎭南浦、安東縣行

鐵嶺丸　本月二十九日午前十時神戶出帆翌三十日午後一時門司出帆大連行

天草丸　五月二日午前十時神戶出帆翌三日午後一時門司出帆大連行

大智丸　同六日午前十時神戶出帆門司、天津行

大信丸　同十二日正午十二時大阪出帆翌十三日午前十時神戶出帆門司、天津行

嘉義丸　同十四日午前十時神戶出帆翌十五日午後一時門司出帆大連行

（天津行ハ白河ヲ遡航シ居留地碼頭ニ橫付ス）

米國行

しあとる丸　五月三日午後橫濱出帆タコマ行

「フィッツパトリック」號　同十五日午前橫濱出帆神戶、門司、上海、香港行

臺灣行

臺南丸　五月四日正午十二時神戶出帆宇品、門司、基隆、澎湖島、安平、打狗行

第二南越丸　同九日正午十二時橫濱出帆同十三日午前八時神戶出帆門司、長崎、基隆、安平、打狗行

さくら丸　每月一日、十五日午後二時神戶出帆門司、基隆行

笠戶丸　每月八日、二十四日正午十二時神戶出帆門司、基隆行

浦潮斯德行

鳳山丸　五月三日午後六時敦賀出帆同五日浦潮斯德著
金曜日午後二時浦潮斯德發歐洲行急行列車ニ連絡ス

○附錄　今二十六日發刊廣告八頁

官報第八千五十號附錄

明治四十三年四月二十六日

○廣告

○商業登記

合資會社登記簿第三〇冊第一四六〇號

一商號　合資會社共榮商店
一本店　東京市神田區須田町四番地
一目的　洋傘毛織物仕立製造販賣ヲ爲スヲ以テ目的トス
一設立年月日　明治四十三年四月五日
一存立時期　自明治四十三年四月五日至同五十三年四月五日滿十箇年
一解散ノ事由　當會社ハ殘額積立金カ總出資額ト同金額ニナリタルトキヲ以テ解散スルモノトス

一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任

金二百圓	無限	東京市神田區岩本町七番地	中林　益三
金一千圓	有限	同所六番地	小林文次郎
金一千圓	同	同所十六番地	高橋正次郎
金一千圓	同	同市同區柳町一番地	河野千代吉
金一千圓	同	同市同區岩本町七番地	村主右門

合資會社玉寶堂登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十三年四月二日本店ヲ左ノ所ニ移轉ス
一本店　東京市下谷區仲徒士町四丁目二十八番地
東京鐵道株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役左者明治四十三年三月二十八日重任ス
東京市麹町區飯田町三丁目二番地　小野　金六
同市神田區同朋町十一番地　吉田　幸作
同市淺草區花川戸町二番地　神谷傳兵衛

合資會社川崎銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十三年四月五日茨城縣水戸市大字上市泉町三丁目四十八番地ノ支店ヲ左ノ所ニ移轉ス
一支店　茨城縣水戸市大字上市泉町千百一番地
太陽生命保險株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役鳥居春洋ハ明治四十三年三月三十一日辭任セリ
一取締役山口格次郎、那須勞三郎ハ、明治四十三年四月五日辭任セリ
合資會社登記簿第三〇冊第一四六一號

神谷大勝堂合資會社
一商號
一本店　東京市下谷區下谷徒士町三丁目十七番地
一目的　書籍雜誌繪葉書繪艸紙玩具化粧品其他雜貨類ノ販賣
一設立年月日　明治四十三年四月七日
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任

書籍二關スル器具一式	無限	東京市下谷區下谷徒士町三丁目十七番地	神谷　武一
假格金四百圓			
金二百圓	有限	同所	鈴木　ヨシ
金二百圓	同	島根縣石見國那賀郡石見村字原井百二十四番地	神谷　武人
金百圓	同	東京市下谷區下谷中清水町二十一番地	市川　節三

株式會社川崎蓄銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十三年四月七日茨城縣水戸市大字上市泉町三丁目四十八番地ノ支店ヲ左ノ所ニ移轉ス
茨城縣水戸市大字上市字泉町千百一番地

合資會社中興洋品店登記事項中左ノ如ク追加ス
一解散ノ事由及年月日　總社員ノ同意ニ因リ明治四十三年四月一日解散ス
右明治四十三年四月七日登記　東京區裁判所

日本電業株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役瀧鼻榮之助、土居愛明ハ明治四十三年三月三十日辭任シ左記三名取締役ニ當選シ各〻就任セリ
茨城縣猿島郡境町二百五十五番屋敷　海老澤爲次郎
北海道小樽區有幌町十七番地　中村多四真
東京市麹町區上六番町六番地　舟田虎次郎
一監査役吉岡幸次郎ハ明治四十三年三月三十日辭任シ左記二名同日監査役ニ當選シ各就任セリ
北海道小樽區信香町三番地　馬場安太郎
茨城縣猿島郡古河町九百八番地　平野　甚助
右明治四十三年四月八日登記　東京區裁判所南品川出張所

株式會社鉄鑛銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十三年三月二十六日左ノ者監査役ニ重任セリ
豐多摩郡井荻村大字下荻窪三百八十五番地　都筑佐太郎
豐多摩郡高井戸村大字上高井戸二千五十番地　内藤鉚太郎
右明治四十三年四月五日登記　東京區裁判所中野出張所

合資會社榊屋商會登記事項中左ノ如ク變更ス
一代表社員加藤市藏ハ明治四十二年十一月二十九日死亡セリ
一加藤市藏ハ明治四十三年三月二十五日代表社員ニ就任（新任）セリ
右明治四十三年四月五日登記　八王子區裁判所青梅出張所

丸燈運合資會社變更事項
一本店移轉
右明治四十三年四月八日登記　横須賀區裁判所

大日本軌道株式會社變更事項
一靜岡市支店
右明治四十三年四月七日登記　小田原區裁判所

合資會社川崎銀行登記事項中左ノ通變更
一水戸支店　茨城縣水戸市大字上市泉町千百一番地ニ移轉ス
右明治四十三年四月七日登記　佐倉區裁判所

合資會社登記第八號
一商號　北總物産合資會社
一本店　海上郡木銚子町一四三六番地
一目的　農産物水産物ヲ加工シ販賣
一設立ノ年月日　明治四十三年三月二十七日
一代表社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任

青野愼助	金四百圓	無限責任　海上郡木銚子町一四六六番地青野愼助
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任		
金四百圓	無限	同所一四七〇番地 石橋七　金四百圓無限責任同所一四六七番地石田富之助　金
金三百圓	有限	同所一四七〇番地 宗次郎　金三百圓有限責任同所一四七〇番地 米山利太郎　金
金二百圓	有限	同所一四三六番地 酒井新之助　金二百圓有限責任同郡豐浦村小川戸二四二六番地 鈴
木助右衛門	金二百圓	有限責任同郡木銚子町一四八〇番地 玉崎與七　金百圓有限責任同所一四六六
番地 青野庫之助		

右明治四十三年四月六日登記　八日市場區裁判所荒野出張所

合資會社川崎銀行登記事項中左ノ通變更
一水戸支店ヲ茨城縣水戸市大字上市泉町千百一番地（移轉ス
右明治四十三年四月七日登記　佐原區裁判所

付錄

第8050号　付録

第8050号　付録

第8050号　付録

有限責任黑江日方購買組合登記事項中左ノ通變更ス
一理事和歌重助監事木山定楠ハ明治四十三年三月二十日辭任ニ付同月三十一日組合臨時總會ニ於テ承認シタルニ依リ抹消ス
一明治四十三年三月三十一日組合臨時總會ニ於テ理事及監事補缺選舉ニ依リ左ノ通當選就任ス
理事　木山　定楠
監事　和歌　重助
右明治四十三年四月六日登記
海草郡黑江町大字舟尾一四九番地

和歌山區裁判所黑江出張所

產業組合設立ノ登記
名稱有限責任鳴門石材販賣組合
事務所德島縣板野郡鳴門村大字宇三石村字美谷山下六十番地ノ一
目的組合員ノ委托ヲ請ケ其採掘セル石材及其他加工セル物品ノ販賣ヲ爲ス
設立許可ノ年月日　明治四十三年三月二十二日
出資一口ノ金額金五十圓
出資拂込ノ方法第一回ノ拂込ノ金額ハ出資一口ニ付金二十圓トシ第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノトス
外出資各口ニ付毎年二月末及八月末迄ニ各三圓ヲ拂込ムモノトス
理事氏名住所德島縣板野郡鳴門村大字宇三石村五十五番屋敷山上彌八郎同縣同郡撫養町
大字南濱村字蛭子前四百三十二番地八木市太郎同縣同郡鳴門村大字三石村百三十四番屋敷乾俊太郎
監事ノ氏名住所德島縣板野郡鳴門村大字土佐泊浦村字大谷百番地引田角太郎同縣同郡同村大字高島村字南百七十三番地橋本熊次郎
存立ノ時期總會ニ於テ解散ノ決議ヲ爲スモ存立ス
右明治四十三年四月六日登記

撫養區裁判所

無限責任柿野共益信用組合登記事項中左ノ通變更ス
一認可ヲ得テ定款ヲ變更シ監事ヲ二名トシ且任期改選ノ結果左ノ者當選就任セリ
一監事ノ氏名住所
林　房吉
土岐郡鴨里村柿野九百三十七番地
永井　寛一
土岐郡鴨里村柿野五十三番戸
右明治四十三年四月五日登記

御崎區裁判所多治見出張所

產業組合設立登記
名稱有限責任南大海購買組合
事務所石川縣羽咋郡南大海村字人野ホ九
一二
目的生計生產ニ必要ナルモノヲ購買シテ組合員ニ賣却スルコト
組織有限責任
三
一口ノ金額金十圓
七
出資一口ノ金額金十圓トシ第一回拂込ニ充ツルモノト外組合員ノ出資各口ニ付毎月末金一圓宛拂込ムモノトス
八
出資拂込ノ方法出資第一回ノ拂込金額ハ設立許可ノ年月日ヨリ一箇月以内ニ全額拂込ムモノトス
理事ノ氏名住所
理事氏名住所石川縣羽咋郡南大海村字荒屋ロ六十四番地奥村賀同縣同郡同村字中沼七十三番地東谷榮藏同縣同郡同村字廻戸町ヌ十番地盛戸忠一同縣同郡同村字中沼七十三番地金田俊次
九
監事ノ住所氏名石川縣羽咋郡南大海村字夏梨千七十七番地喜樂與三八同縣同郡同村字人野ホ九十三番地城村滋三郎同縣同郡同村字野寺ホ二十九番地寺井榮八
十
存立時期二十箇年
右明治四十三年四月五日登記

高濱區裁判所南大海出張所

無限責任上條村信用購買販賣組合登記設立
組織無限責任
事務所中新川郡上條村大字石割村一二六番地
目的一組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸附シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二產業及生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルコト
三組合員ノ委托ヲ受ケ其生產シタル農產物ヲ販賣スルコト
設立許可ノ年月日　明治四十二年十一月二十六日
出資一口ノ金額金二圓
出資拂込ノ方法第一回拂込金額一口ニ付キ金二圓以後拂込ノ剩餘金ヨリ充ツルモノト外每年十月末出資各口ニ付金一圓以上宛ヲ拂込モノトス但シ最終拂込濟額ノ殘額トス
理事ノ氏名、住所、中新川郡上條村大字石割村一二四番地杉木信行、同郡同村大字高寺村九五番地杉木善吾同郡同村大字田伏村四八六番地折伊健次
同郡同村大字小出村一八六六番地德原育郎
監事ノ氏名住所中新川郡上條村大字專光寺村六七〇番地土井與三郎同郡同村大字上田彌村五七四番地堀井金次郎同郡同村大字本塚村五三二番地毛利清市同郡同村大字金屋村六七番地井伊藤次郎
存立ノ時期三十箇年
右明治四十三年四月六日登記

富山區裁判所滑川出張所

產業組合設立登記名稱有限責任高津村信用購買販賣組合
組織有限責任、事務所新居郡高津村大字澤津三百六十一番地
目的一組合員ニ農業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ竝ニ貯金ノ便宜ヲ得セシム
二農業及生計ニ必要ナル物品ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ販賣ス
三組合員ノ委托ヲ受ケ其生產シタル農產物ヲ加工シ又ハ加工セシテ之ヲ販賣ス、設立許可ノ年月日明治四十二年十二月二十四日、出資一口ノ金額十圓、出資拂込ノ方法第一回拂込額ハ一口ニ付金一圓トシ以後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノトシ、外每年一月六月各末日迄ニ金三圓以上ヲ拂込ムモノトス、理事ノ氏名住所新居郡高津村大字澤津四十八番戸小野寅吉
同村大字宇高六十番戸高橋庫治同大字百二十三番戸藤田石松、監事ノ氏名住所新居郡高津村大字澤津百四十番戸小野新之丈同村大字宇高七番戸高橋安之助
存立時期二十箇年
右明治四十三年四月四日登記

西條區裁判所泉川出張所

無限責任石貫村組合登記事項中左ノ通變更ス
明治四十三年三月二十日監事任期滿了ニ付總會ノ決議ニ因リ左ノ通リ改選重任セリ
監事　熊木縣玉名郡石貫村石貫千六百六十一番地　仲光　軍平
監事　同縣同郡同村同所二千五百十九番地　北里　廣次
監事　同縣同郡同村富尾五百十六番地　平島　寅太
右明治四十三年四月四日登記

高瀨區裁判所

○相續財產管理人選任

木綿及最後ノ住所滋賀縣伊香郡伊香具村大字西山七十番屋敷
被相續人　佃孫次郎
嘉永二年三月五日右本籍地ニ於テ出生、明治四十三年二月二十一日同所ニ於テ死亡
同縣同郡同村同大字四十三番屋敷平民農　佃原十寅
相續財產管理人
右相續財產管理事件ニ付當區裁判所ハ利害關係人同縣同郡同村同大字八百五十二番地小野清左衛門ノ申請ニ因リ前記佃原十寅ヲ佃孫次郎ノ相續財產管理人ニ選任シタリ
明治四十三年四月二十二日

彦根區裁判所

判事　大矢早利

○準禁治產宣告

香川縣仲多度郡吉野村七十番戸平民農　田村　留造
右ノ者ニ對シ父田村房吉ノ申立ニ因リ浪費者ト認メ準禁治產ヲ宣告ス
明治四十三年四月十四日

丸龜區裁判所

判事　長尾與吉

○公示催告

千葉縣安房郡富崎村布良三百九十八番地ノ一戸主平民漁夫　助八
不在者　島田　助八
明治九年一月一日生
右ニ對シ母島田ゑ代ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十三年十月二十五日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ届出ヲ爲スヘク若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其届出ヲ爲スヘシ
明治四十三年四月二十一日

北條區裁判所

判事　佐瀨鎗四郎

明治四十三年禁第二號
富山縣射水郡新湊町大字放生津町九百三十八番地平民　清水傳右エ門
不在者
安政元年十一月八日生
右ニ對シ利害關係人清水金次郎ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十三年十一月十九日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ届出ヲ爲スヘク若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其届出ヲ爲スヘシ
明治四十三年四月十九日

高岡區裁判所

判事　松宮全之助

○失踪宣告

熊本縣玉名郡賢木村豐永四千二百五十二番地平民農業　古閑　ヌイ
不在者
文化七年八月十五日生
右ニ對シ養子古閑万作ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ明治四十三年四月二十日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
明治四十三年四月二十日

高瀨區裁判所

判事　井上健一郎

存手　8050　官報　大十號